

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

池田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
	交付金	補助金									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	100	協議会の運営に必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
地域掲示板設置事業	40	40	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	・平成21年度設置。シルバー人材センター西側の掲示面が数年で劣化し使用不能となる。	・設置時の状態に修復された。	・地域住民への情報伝達のツールとしての役割を取り戻した。	・安からう悪からうでは困る。入札時に品質基準を明確にして再発防止に努めてもらいたい。			掲示板の改修により機能更新された。あらためて地域の広報活動に寄与することを期待する。	地域分権・協働課 自治振興費
地域自主防犯・防災体制強化事業	2,566	516 2,050	自主防犯・防災組織への資機材配備、自主防犯・防災組織を中心とした合同防災訓練及び防犯・防災講演会を実施し防犯・防災体制の強化を図る。	・校区内18自治会・町会のうち16の自治会・町内会により13自主防災会が組織化、設立される。 ・うち10自主防災会への資機材配備が完了。	・今年度新たに設立された自主防災会のうち城山・菅原防災会に1次資機材配備を行った。（2次で終了） ・13自主防災会が主催し、池田市と協働の合同防災訓練を実施。	・新たに綾羽1丁目地域防災会が設立された。 ・池小校区自主防災会・連絡会（13自主防災会が参加）が機能してきた。	・未設立の2自治会・町会への働きかけ。 ・池小校区自主防災会・連絡会の充実。			池田小学校区の自主防災組織が合同で防災訓練を実施するなど、地域の防災活動大きく貢献したことを評価する。万が一災害が発生した時に有効活用できることなどを期待する。	危機管理課 災害対策費/ 自治振興費
防犯カメラ設置事業	998	992 6	安全で安心な暮らしの実現に向け、防犯カメラを設置する。	・辻が池公園に設置後間がない上2防災倉庫が夜間窃盗目的で扉が壊される被害に合う。	・辻が池公園西出入口及び東南出入口付近に各一台防犯カメラを設置した。	・設置後5カ月が経過したが、現在のところ再発はない。 ・今夏の夜間の状況を見守りたい。	・メンテナンス費用(5万円/年)が継続して発生するので毎年事業提案しなければならぬ。			地域の危険箇所へ防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する。また継続的経費について理解し、設置場所について十分の議論・調整の上、提案を期待する。	危機管理課 自治振興費
池田駅前公園整備事業	441	441	池田駅前公園を市民の憩いの場として整備する。	池田駅前公園南側樹木の間緑台	池田駅前公園南側樹木の間緑台追加設置	新たに緑台を追加する事により、休憩したり、弁当を食べたりする場所を提供する事が出来た。 憩いの場所として沢山の方に利用して頂いております。	前回の課題と同様、屋根の上に枯葉や小枝が乗るので定期的に掃除が必要 また、子どもが土足で椅子の上上がり足形が付いている時があるので、掃除が必要			昨年度に設置したテーブルセットの横に緑台を設置することで、より多くの人に利用され、憩いの場として好評を得ている。	みずとみどりの課 公園費
池田駅前便所美化事業	292	292	池田駅前便所を池田の玄関口にふさわしい環境に近づける。	・池田の玄関口の施設としては、はずかしい存在であった。	・市の事業として実施が決定。よって本件は未実施に終る。	—	—			平成27年度の予算において市の事業として実施。よって本件は未実施に終る。	業務センター 環境衛生費
池田小学校備品支援事業	48	48	野外活動等における子ども達の安全・指導等の確保を目的として備品を支援する。	・前年度ワイヤレスメガホンを配備したが、タイピン型ワイヤレスマイクロホンが配備されていなかった。	・タイピン型ワイヤレスマイクロホン1セットを配備した。	・小学校の行事だけでなく、校区合同防災訓練等で重宝している。				ハンズフリーの状態 で意思周知が可能となり、関係者の安全確保に繋がった。	管理部総務・学務課 学校管理費
地域コミュニティ紙等発行事業	411	411	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	継続事業としている	経過年数の資料としてわかりやすく見やすさがある 毎年の継続・新規事業の様子がひと目でわかり好評である 各町会からの協力が大変良好である	身近なニュースソースを取り上げる事によって地域の関心度を高めている。 HPとのタイアップで活動状況がよくわかる	いかに多くの市民の方にコミュニティを理解していただき自ら意見・提案をしてもらいたいと思えるように工夫したい。 今後、小中学校でこれからの世代の提案を取り上げるなどして地域づくりに関わっていく地域教育の一つとしていければいいのではと思うところである。			防災の特集号など地域にとって非常に重要な情報源となるよう工夫いただいている。今後も創意工夫のある紙面づくりに期待する。	地域分権・協働課 自治振興費
池田地域コミュニティ推進協議会事務所運営推進事業	855	855	協議会の事務所を置き、作業や外部からの通信、来訪等に対応し、活動の円滑化と活性化を推進する。	・市立池田会館内に設置(平成23年度から) ・専属女性事務員1名、男性会員3名(輪番制)で運営。 ・PC×2、プリンター×1、TEL(FAX)×1、プロジェクター×1、スクリーン×1、事務机、会議机、椅子等を保有。	・開所後4年が経過し、運営も軌道に乗った。	・本協議会内の書類様式の統一標準化が出来、事務処理のスピード化が図れた。	・後継者さがし			事務作業のみならずホームページの充実にも寄与しており、今後も拠点としての継続性に期待する。	地域分権・協働課 自治振興費
「ちいさな絵本館」推進事業	1,158	1,158	絵本の読み聞かせを通して地域住民の世代間交流を推進する。事業の拡充を進めるに当たり、スタッフを募集する。絵本に関するセミナー等を定期的に実施し、利用者間の交流を積極的に推進する。	創立5年目を迎えスタッフも一丸となって絵本館運営に携わっている。年間スケジュールに基づく毎日のミニお話し会や年3回開催のイベントや11月の文化ラリーへの参加等を通じて地域の子育て支援が継続してされている。	・前年度を上回る来館者があり地域の子育て世代を中心として「ちいさな絵本館」の認知度が更に深まっている。 ・28名のスタッフと来館者との交流が「スタッフのつばき」にみられるようにより深まっている。 ・市外からのボランティアスタッフへの参加希望があり採用した。	・毎月発行の「ちいさな絵本館だより」や月1回更新のホームページ等により、絵本館への親近感が増し利用頻度が上がった。 ・新しい絵本の購入が継続的にされているので、利用者からの蔵書内容への満足度が増し、来館者増へつなげられている。	・子育て世代、特に父親の来館が望まれる。 ・蔵書の新鮮度を上げるため、利用者からの希望図書情報を得る努力をする。			絵本の読み聞かせなどを通し、池田小学校区の子育て支援の場として根付いている。また、毎月ホームページの更新や「ちいさな絵本館だより」により情報発信を行い、利用者への周知を実施し利用者も増加している。引き続き利用者ニーズの把握し、更なる活動の充実を期待している。	子育て支援課 自治振興費

各部会毎で評価(客観的な指標も用いた)協議会役員会で最終照査してまとめを行った。

本年度においても自主防災組織が新たに設立され、体制強化が図られていることを評価。またちいさな絵本館、キッズランドなど子どもを対象とした事業も多く、子どもたちも参画しながらの活動が展開されることを期待する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

MTPフェスティバル 実施事業	605	補助金	605	中学校関係者が中心となって進める住民交流の事業を支援する。夏と秋の2回、地域の子どもから大人までが楽しめる催しを開催する。	平和のつどい・定着し安定した運営がなされている。 MTPフェスティバル・関係者以外の学生の自主的な参加者が少ない。	平和のつどい・うちわに子どもたちの絵を採用することで子どもたちの関心度が高まった。 MTPフェスティバル・悪天候の為屋内運動場のみの開催となる。	小中一貫教育の具体的な生徒間の活動を話し合うために生徒会と児童会のメンバーが初めて顔合わせされたとのこと。今後も池田学園として共に活動することが増えていくのではないのでしょうか。	池田学園MTPフェスティバルとして定着するよう、関係者との連絡を今まで以上に密にする。	平成22年から始まった本事業は7回目を数え、雨の開催にも関わらず多くの参加者があり、盛り上がった。毎年、多くの地域住民が楽しめる有意義なイベントとなり、大変評価できる事業である。	教育政策課 自治振興費
キッズランド支援事業	104	補助金	104	池田小学校で行われている「キッズランド」で使用する備品及び教材を購入し、充実したキッズランド活動を支援する。	・遊具の消耗が激しく、数が少ないので取り合い状態であった。	・ソフトボール40ヶ ・バドミントン10組 ・カラーボール5ヶ-ス ・ドッチボール10ヶ ・けん玉10ヶ を購入。 ・十分とはいえないが取り合い状態は解消された。	・基礎体力増強の一助になっているのは。	・子どもたちに大切に使用するよう、使用後の整備等を通じて指導していく。	キッズランドで使用する遊び道具等を補充したことにより、子ども達が遊具を取り合うことなく、仲良く活動することができるようになった。 有効な事業として評価できる。	教育センター 自治振興費
市民レクリエーション 大会事業	350	行事報償金	350	校区実行委員会が主となり毎年、小学校運動場を会場としてコミュニケーションの拡充とスポーツ意識の向上に伴う健康づくりを目指す。	・継続して実施している。	スポーツを通じ、地域のつながり・会話・コミュニケーションがもてた。	みなさんの笑顔。 子供からお年寄りにスポーツの楽しさ、すばらしさを知っていただいた。	池小校区で、ラジオ体操の輪を広げたい。だれでもが参加出来る種目です。	事業の実施により、地域スポーツの振興が図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費
計	7,868			事業提案限度額	7,968千円					

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

細河地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営に必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
街路灯強化事業	27	電気使用料 27	細河地区の防犯灯が設置されていない地域に設置したLED灯の維持管理を行う。	街路灯の維持管理を継続し、防犯に努める必要がある。	防犯灯がない地域にLED街路灯を継続して利用できた。	夜道の防犯対策に寄与している。LED電球は経済的であり、細河の植木植栽類にやさしい。	地域住民に対する調整。			街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 交通対策費
細河コミュニティ道路整備事業	500	修繕料 500	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、伏尾台コミュニティ推進協議会と協働でコミュニティ道路整備を行う。	継続している事業で舗装工事を引き続き行う。	次年度の工事で完成予定。	細河・伏尾町と伏尾台をつなぐ貴重な通路である。	利用者が幅広い年齢層になり、夜間照明、出入り口への警備員の配置等も必要となる。			道路整備により、より安全で安心な散策道が確保されたと考える。	道路課 道路維持費
地域コミュニティ紙等発行事業	287	補助金 287	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	コミュニティでどんな事業を実施しているのかわからないため、活動を知っていたき、関心を高める必要があった。	年2回（7月、1月）発行。部会毎の事業報告や親水公園、グランドゴルフ場、イベントの案内、災害・犯罪情報など、分かりやすく発信し、地域に関心を持っていただけた。	地域コミュニティ活動の認識や防災の意識を高めている。また、イベントの集客に寄与した。	より充実した内容にするため、マンネリ化を防ぎ新会員の募集をしていく。			事業部会ごとに記事を掲載するなど、わかりやすい紙面への工夫が見られる。今後も創意工夫のある紙面づくりに期待する。	地域分権・協働課 自治振興費
細河ふれあい観光推進事業	200	補助金 200	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、細河PRイベントを行う。	ほそかわフェアというイベントを平成23年度より継続して開催している。地元住民に細河の魅力再発見、地域の活性化を促すとともに、細河をPRするように計画した。	炭焼きアート・リース作りのブースや、野菜収穫体験を通して細河の魅力を伝えることができた。	細河小学校の餅つき大会と共同開催。関大生の企画で推進。細河の魅力再発見、地域の活性化につながる行事である。	いろいろな角度から細河の活性化につながる企画を考え、実施できるよう若者や地域との協力関係の充実。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
細河祭り運営事業	150	補助金 150	地域の活性化とコミュニティ意識の高揚を図るため地域住民が細河祭り運営事業を総合的に行う。	地域内のコミュニケーションをより充実させるために、祭りの運営を支える必要がある。	地域住民の実行委員会が主体で運営を行って模擬店を出店し、コミュニケーションを充実させることができた。	地域の活性とコミュニティ意識の高揚。	小学校の廃校に伴い地域での行事継続の取り組み方。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
細河地域活性推進事業	2,822	補助金 2,822	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、「みどりの郷」観光案内所の運営、散策路管理及び地域特産品の朝市販売等一連の事業を総合的に行う。	細河を訪れた人への案内や、地元の人へのハイキングコースの維持管理、地元で採れた野菜の販売場所の設備充実が必要である。	みどりの郷案内所などの看板を修繕して分かりやすい表示になった。ハイキングコースの維持管理をして利用しやすくした。朝市事業でのテントを張り替え、設備が充実した。	事務所への訪問者の増加や、管理するハイキングコース利用者の増加、朝市野菜販売等により地域活性に寄与し、コミュニティの意識高揚となる。	事務所詰め等のボランティア及び出展者の募集。			施設や催しの利用者・参加者も順調に増加しており、地域の窓口及び地域交流の拠点としての役割を担っている。	地域活性課 自治振興費
細河ふれあい農園事業	200	補助金 200	細河の遊休地を活用し市民に開放することにより、細河地域の活性化を図るとともに、農作物を通じた世代間の交流を促進し、また、市民が土に触れる喜びや癒しの場を提供する。	農園の草刈などの維持管理が必要である。また、新規農園の拡大を検討している。	草刈を実施して引き続き利用していただいている。また、新規農園を整備し、拡大できた。	遊休農地の活用により地域の活性化を図れる。土と親しむ機会を市民の皆さんに提供することにより地域外の人との交流が図れる。	トイレ、駐車場等利用者のマナーの向上。農地講座等勉強会の充実。			農作業による食作りへの意識の高揚と利用者間の交流促進に寄与している。新規農園の開設により更なる利用者増が期待できる。	地域活性課 自治振興費
細河の自然を守る事業	1,000	補助金 1,000	ホタルの育成事業の実施、里山の竹や剪定枝の炭焼き活動及び剪定枝リサイクルの調査研究を行う。	蛍の飛ぶ環境が出来上がっているが、維持管理が必要。里山保全活動を継続しているが、効率よく作業をできないか検討した。	蛍が飛ぶ姿を確認できた。地元住民に好評であった。里山保全活動では軽トラックをリースし、間伐した木材を運搬し、しいたけの原木として利用している。	蛍の飛ぶ豊かな自然環境と竹林や雑木林の間伐による里山の保全を行い、地域の環境整備に効果あり。	保全エリアが広いので会員以外のボランティア募集方法の検討。多額の予算が必要となる。			大きな課題はあるが、ホタルの育成を始めとした細河の自然を生かした事業活動に今後も期待する。	環境をまもる課 自治振興費
余野川堤防八重桜植樹事業	100	補助金 100	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、余野川堤防に八重桜を植樹する。	平成25年度より継続しており、よりたくさんの八重桜を植樹して景観美化につなげたい。	計画のとおり植樹できた。今後も充実させて景観美化につなげたい。	自然と地場産業である植木を活用し、細河の景観の美化。	河川管理者である大阪府担当部署の理解を求める。			毎年の植樹により、桜並木も広がっている。開花することにより、景観美化につながる事が期待できる。	環境をまもる課 自治振興費
細河中学校花いっぱい運動支援事業	25	補助金 25	地域と学校が一緒に実施する「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動の支援を伏尾台地域とともに行う。	学校単独で実施していたが、内容を充実させるために活動を支援する。	細河中学校の運動を支援した。今後も継続予定。	子ども達自身で花を育てて感性豊かな心を育むとともに、地域の特別養護老人ホーム等へ花を配布して公的施設の美化につながる。	配布後の管理についても併せて指導が必要。			学生が育てた花を地域の老人ホーム等に配布することにより、緑化だけでなく地域のつながりにも期待できる。	環境をまもる課 自治振興費
細河高齢者等配食サービス事業	2,300	補助金 2,300	配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを引き続き実施する。同時に、見守り、訪問、声かけを行い、高齢者の社会参加を促す。	平成20年度より継続して配食サービスを実施している。年間目標は5,800食。	目標を超えて6,109食を配達することができた。好評で注文が増加した。	配達ごとに声かけを行い、体調を尋ねて見守りを行う。	配達業務の人材を探している。			平成26年度は6,109食の宅配給食を行った。高齢者の見守りを兼ねており、今後もさらに重要性が高くなる事業である。	高齢・福祉総務課 自治振興費
細河地域子ども会育成事業	250	補助金 250	校区全体で子ども会の育成を行い、協議会と子ども会が協働して、子どもとのふれあいの場を維持していく。	平成24年度より継続して子ども会活動の支援をしており、子どもが元気に育成する場を提供している。	7月にプール場、3月にはスケートリンクへ送迎し、子どもの育成に寄与することができた。	子ども会活動の充実を図り地域と子どもとの触れ合いを深める。	細河小学校の廃校に伴い地域子ども会とのかわり。			プールやスケートといった子どもが楽しく元気に活動できる場を提供することで、地域の子ども同士の間が深まり、校区の子ども会活動の充実及び地域と子どもとの触れ合いにつながった。有効な事業として評価できる。	教育センター 自治振興費

各部会からの報告を受け、役員会でまとめたものを総会で決定する。

自然豊かな地域特性を活かして多くのイベントや施策を実施、また配食サービスも前年比約800食増と限られた予算・自然を生かした事業活動に今後も期待する。なお補助金の適正な管理、執行については留意されたい。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

市民レクリエーション 大会事業	150	行事報償金 150	細河地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、地域団体が実施する住民運動会の運営事業を支援する。	地域住民のコミュニケーションの強化、スポーツを通して健康維持する意識を広めた。	多くの住民が参加したことによりコミュニケーションが充実し、健康意識の向上につながった。	地域の活性とコミュニティ意識の高揚。	小学校の廃校に伴い地域での行事継続の取り組み方。			事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費
グラウンドゴルフ場運営・整備事業	50	補助金 50	地域の活性化とコミュニティ意識の高揚を図るために設置したグラウンドゴルフ場の運営を行う。	利用者が快適に利用できるよう、定期的な整備が必要。	整備するためにユンボを借上げた。利用者の増加につなげた。	地域の活性とコミュニティ意識の高揚。	有効な利用方法の提案が必要。 例えば、不死王閣の利用客にも使ってもらおうよう検討。			利用者の増を図ってほしい。	生涯学習推進課 自治振興費
計	8,061		事業提案限度額 8,161千円								

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

秦野地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
	説明										
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営に必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
地域掲示板設置事業	481	修繕料 481	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	地域掲示板のない地域があり地域コミュニティの活動内容や情報の共有ができなかった。	掲示板を設置することができ地域コミュニティの活動内容や地域団体の情報を掲示することができた。	地域コミュニティの活動内容・地域団体の情報を地域住民に知らせることができた。	掲示板のない地域からの要望があるため引き続き掲示板設置をしていく。				地域分権・協働課 自治振興費
防犯カメラ維持管理事業	20	電気使用料 20	安全で安心な暮らしの実現に向け、防犯カメラを設置する。	交差点での事故・事件に関する情報収集の手段がなかった。	交差点での情報収集ができるようになった。	防犯カメラがあることにより、事件の抑止効果が期待できる。また、事故があった時に客観的な情報源になっている。	地域内の大きな交差点にまだ設置されていないところがあり設置していく必要がある。				危機管理課 自治振興費
AED管理事業	781	器具費 730 消耗品費 51	地域内の各会館に設置し、突然の疾病や事故に対処する。住民には救命講習の受講を呼びかけ万に備える。	地域内全会館にAEDは設置したが、保管場所が決められていなかったので場所がわかりにくかった。消防署での講習を受ける人が少なかった。	AEDの保管BOXを設置した。講習を受ける人が少しずつ増えた。	AEDがどこにあるか一目でわかり、突然の疾病や事故に対処することができるようになった。講習を受ける人が増えた。	AEDは引き続ききちんと管理していく。講習を受ける人がまだまだ少ないので啓蒙活動をしていきたい。				健康増進課 保健衛生総務費
地域内公園施設改修事業	3,730	修繕料 3,730	地域内公園遊具を改修することにより、利用者にとって利用しやすい公園にする。	遊具のペンキがはがれているものがあったり、砂が足りなかった。遊具が足りない公園があった。	全公園の遊具のペンキの塗り直しをした。砂を入れた。遊具が足りないところはスプリング遊具を設置し、遊具に設置しているべきタイヤを設置した。	公園がきれいになり使いやすくなった。遊具が増えたところでは来園者が増えた。	安心安全な公園になるように改修していく。				みずとみどりの課 公園費
地域コミュニティ紙等発行事業	335	補助金 335	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	「秦野まちづくりだより」を池田市報に挟み込み配布して、協議会活動のPRに努めてきた。地域分権をより定着させるために、活動・関心をさらに高める必要があった。	地域の催しを中心に、写真を多くし、行事には、より広くわかりやすく、記事内容の充実を努めた。	各団体の行事日程一覧を記載したことで、地域の行事について関心が深まった。写真・記事などの紹介で、より多くの人々の目を引くようになった。	まだまだ活動のPRが足りない。地域住民とのコミュニケーションが必要である。協議会の会員の募集も含め、啓もう活動に努めたい。				地域分権・協働課 自治振興費
地域ギャラリー維持管理事業	237	補助金 237	コミュニティ事業の情報発信、地域住民の作品を掲載、地域行事等の広報を行うためギャラリー掲示板を活用する。日常の維持管理経費を計上する。	地域全体としての共通の作品などの発表や情報の掲示場所が不足していた。2週間に1度の入替のため、会員の負担が多かった。	1か月に1度の入替にして、入れ替え作業を掲示者にしていただくことで、会員の負担は軽減した。地域の催しも写真などで紹介した。幼稚園の作品も継続的になってきた。	毎年、新しい作品が増えている。認知度がアップしている。通行人の方にもよく見ていただいている。	作品集はまだ必要。今後も根気強く広報活動が続けていきたい。				地域分権・協働課 自治振興費
校区盆踊り大会事業	230	補助金 230	スポーツ振興会と子供会等の共同開催を支援する。コミュニティ意識の高揚を図る。	スポーツ振興会・子ども会等で開催している。コミュニティ意識の高揚をはかる。	備品などで共同開催を支援しており、参加人数も増加している。	備品を揃え、スポーツ振興会・子ども会への支援が充実したと思われる。	今後は、古くなった備品を順次交換する必要がある。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめたものを総会で決定する。	少ない協議会員ながら精力的に活動いただいていると認識。今後地域の各種団体なども巻き込みながら、更に組織を安定・充実させ、地域の活性化に寄与することを期待する。		観光・ふれあい課 自治振興費
地域活性推進事業	500	補助金 500	地域の交流と地域活性化を図るため、フリーマーケット及び地域活動を推進・支援していく。	平成22年から毎年恒例となり、平成25年から会場を渋谷公園から秦野小学校グラウンドに変更したことで、参加人数が増えた。必要な備品の購入を貸し出した。	秦野小学校グラウンドで行うことにより、参加・出店人数が増えた。さらに人数が増えても対応できると思う。	地域全体の交流の場ができ、渋谷中学校の生徒の参加により、幅広いコミュニケーションが図られている。	秦野小学校のグラウンドが改築工事のため、工事内容を確認しながら臨機応変に対応していきたい。				観光・ふれあい課 自治振興費
秦野地域花いっぱい運動支援事業	80	補助金 80	地域と学校が一緒に花を育て緑化を進め笑顔のあふれる地域にしていく。	今回で2回目の事業。渋谷中学校・地域の各団体と連携して行った。	保護者・保護者OB・教職員・地域の方々が参加し、菊づくりを中心に草花の栽培に対して支援した。	咲いた菊を中学校の文化祭で展示することにより来訪者を和ませた。また各会館にも分けて喜ばれた。	今後も継続的に支援していきたい。				環境をまもる課 自治振興費
自然学習講習会・昆虫育成事業	100	補助金 100	地域特有の自然と触れあい、自然を学び、幼虫育成により親子のふれあいの場を提供する。	渋谷公園にある養育場に自然のカブト虫が卵を産みに来るのでそれを掘り起こして養育の勉強会をして幼虫を子供たちに配布した。また、養育場の土の入替をして改めて卵を産みに来る土壌を作った。	今年実施時期が遅かったため、幼虫の掘り起しは大人だけで前もって行ったため、子供たちにその感動は伝えられなかったが、幼虫の成長を見てもらうことができた。	養育場の土の入替をすることにより、土壌の清潔さが保たれる。子供たちに自然の営みを感じてもらえた。	幼虫がさなぎになる前に事業を遂行していきたい。				みずとみどりの課 自治振興費
キッズランド支援事業	20	補助金 20	秦野小学校で開設された「秦っ子キッズランド」で使用する備品及び教材を購入し、充実したキッズランド活動を支援する。	キッズランドでの文具等が足りない、古くなっている。	文具等が増えた。	遊びの幅が広がり、楽しんで過ごしている。	まだまだ文具等が足りない古くなっているため、継続的に支援する必要がある。				教育センター 自治振興費

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

地域内子ども会等活動支援事業	450	補助金	450	校区内で子ども会の育成を行い、協議会と子ども会が協働して取組を行う。	地域内の子ども会同士の交流が少ないため、コミュニケーションが充分に図れなかった。	学校などでは行くことが減っている寺院へ行き、山へ登り、子ども会同士の交流ができた。	寺院へ行くことで歴史の勉強ができ、山登りをすることで体力作りにもなった。子ども会同士のコミュニケーションが図れたことで仲良くなった。	できるだけ多くの子どもたちに参加してもらえるよう、場所の設定・日程の調整をして継続支援していきたい。			普段のこども会活動では経験できない行事により、校区のこども会の交流が深まり、子どもたちにとって有意義な体験活動となった。有効な事業として評価できる。	教育センター 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会と子供会等の地域団体が開催する事業を支援する。	地域のスポーツ振興会と子ども会等の地域団体が開催する事業の支援が必要だった。	支援することにより、スムーズな開催ができた。	地域住民の大きなイベントになっている。子ども会の活性化に寄与している。	今後も引き続き支援していく。子ども会と連動して地域の活性化を推進する。			事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費
計	7,164			事業提案限度額 7,264千円								

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

北豊島地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100									地域分権・協働課自治振興費
地域掲示板設置事業	50	修繕料 50	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	今まで天神地区(天神会館南側フェンス取付)の地域掲示板が傷んでおり、地域の情報が掲示できなかった。	地域からの要請で地域の情報、コミュニティの活動を掲示を適宜掲示が可能となった	地域の方々から福祉関係の情報等告知が出来るようになり喜ばれている。	今後も他の地域から要請があれば予算化して事業提案をして行きたい。			掲示板の改修により機能更新された。あらためて地域内の広報活動に寄与することを期待する。	地域分権・協働課自治振興費
AED管理事業	42	消耗品費 42	使用期限が切れるパッド、バッテリーの交換を行う。	過去に設置したAEDのバッテリー等使用期限があり、今回一部期限切れが発生した。	緊急非常時に使用できる状況になっている。	設置した場所は不特定数又は高齢者の集まる場所です。非常時に安心感を利用者に与えている。	AEDは医療機器でもあるのでいつ何時でも使用できる様保守点検を実施していく。			共同利用施設等に設置することにより、多くの住民の安心感を得ることができた。今後も、AED設置・管理要領に基づき、救命講習の受講に努めていただきたい。	健康増進課保健衛生総務費
豊島北2丁目公園花いっぱい整備事業	1,280	修繕料補助金 1,200 80	地域の子供達が安全に遊べる場の提供として、花壇を作り花を育て、また、太陽光発電LED照明を設置し、地域住民の憩いの場とする。	当公園(借地)は園芸高校の実習場の東側にあり、以前より有り地域の方々に利用されていますが街灯もなく、立地から見て、夜間はさびしく防犯上不安があった。 継続事業で整備も完了し、明るい開放された公園、地域住民憩いの場 子供達の遊びの場として多くの人々に利用されています。	設置後夜間も明るくなり、防犯上大変良く不安感が減少した。 花壇土壌の改良作業、植栽作業 年2回 園芸高校先生、生徒さん達の指導による地域住民の花壇花植え替え作業等維持管理。	利用される地域の方々にも防犯上よくなったと評価されております。 花が咲き乱れ、住民の憩いの場 高齢者の散歩途中での休憩所 子供たちには明るく安全で楽しい公園として評価されている。	今後地域の方々から市において草取り等清掃をお願いしたい。 子供達が利用する遊具に不備はないか日頃からの点検が必要。園芸高校の生徒さん達と地域の住民協働で今後も年に2、3回花の入れ替え作業を行っていききたい。 夏季の水やり等の実施 花壇の整備維持管理。			豊島北2丁目公園内の花壇に花を咲かせ、利用者等の楽しみとなっている。また、花壇の手入れを園芸高校と協働で実施しており、学生との交流の場としても活用されている。	みずとみどりの課公園費自治振興費
街路灯設置強化事業	890	電気使用料 35 修繕料 855	安全・安心なまちづくりの一環として防犯対策強化を目的に街路灯を整備する。	校区内(豊島南地域)で夜間は暗く、防犯上に不安があった。	豊島南地域にポール型街路灯一基 電柱取付型一基を設置した。	地域の方々から夜間明るくなって防犯上安心との声が上がっている。	今後も地域からの要望等受け、増設し明るく安全安心の街づくりを進めていきたい。			街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課交通対策費
道路安全対策事業	1,200	修繕料 1,200	児童が登下校の際に利用する通学路にグリーンベルトを設置し、児童の安全を確保する。	市指定の児童通学路に通学安全を確保するためにグリーンベルト舗装(北小南門から箕面川橋の間)がされているが他の通学路交通安全上のグリーンベルトはされていない。	今回北豊島小学校の北側正面玄関前の通学路をグリーンベルト舗装を実施した。	地域の保護者 先生方にグリーンベルト化は一部ではあるが子供たちの通学路の安全が保たれたと好評である。	校区内の通学路は交通安全を目指して、今後も継続的に事業化をして行きたい。			歩行者に通行帯確保による安全意識の向上及び通行車両への運転マナーの向上に一定の効果があったと考えている。	道路課交通対策費
地域コミュニティ紙等発行事業	672	補助金 672	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	地域コミュニティ推進協議会の活動状況又は内容について2ヵ月に一度コミュニティ紙を配布し、理解と協力で参加を進めており、以前よりは理解されてきてはいるが会員増員が進まない。	26年度は5回発行、北小校区約7,100世帯に配布。 配布回数を重ねるごとに認知度は高くなって来ていると思います。	協議会がどのような事業を行っているのか、地域分権に対する理解 認知度が上がって来ていると思います。	ホームページ開設され、今後の発行内容を考える必要がありますがホームページを一部の方しかご覧いただけないので 紙面制約ある中出来るだけ読んでいただけるように記事内容に 活動状況 防災・防犯活動状況 地域の情報等の充実とカラー化等で読んでいただけるように改善を加えて行きたい。			発行頻度が高く、広告をとるなど独自性も見られる。今後も更なる創意工夫に期待する。	地域分権・協働課自治振興費
きたてしまプラザ活用事業	2,708	補助金 2,708	地域住民相互の交流の拠点として住民対象の文化教養教室、子育て支援活動を行う。	コミュニティ推進協議会の活動拠点施設とし、各室で文化教養講座等を実施 週6日開館しております。 空調設備も新設し、地域住民には喜んで利用いただいております。	貸室の希望も多く、利用度が高くなっておりあります。 利用申込参加者年間14,207名ありました。 避難施設としての耐震調査も完了し、十分な耐震躯体とのお墨付きもいただきました。	週6日開館し、利用者年間14,207名 地域住民相互の交流の拠点 文化教養教室 地域の子育て広場(未就園児向けロケツキス)を委託支援 地域の老人会 子供会 地域福祉等団体等の会議開催利用。 協議会主催の教室(うたうプラザ 太極拳 木版画教室 囲碁クラブ等) 児童向け図書室開設等により地域の住民の健康 福祉向上に寄与している。 今年度は太陽光発電設備(池田新エネ推進協議会寄贈)を設置いただき、省エネ利用に貢献し、緊急避難施設としても利用を考えて行きたい。	館内で残るのは機械室の改修工事で近い時期に何か利用できる部屋(喫茶室)を開設し、地域の高齢者 子供を公園で遊ばしながら息抜きの出来る憩いの場を提供していきたい。 又 運営委員会を中心に地域住民が参加出来る、イベント 教室 絵画展 音楽会等 活気あるプラザを企画運営して行きたい。			コミュニティ推進協議会のご努力により、年間14,000人を超える利用者がおり、住民間の交流の場、また子供の見守りの場としての役割を果たしている。	総務課自治振興費
防犯セミナー開催事業	5	補助金 5	地域住民の防犯防災意識の向上のためセミナーを開催する。	特に池田は地域の住民 高齢者が特殊詐欺に合わせ、高額の被害に合われている現状。	10月15日に池田警察署生活安全課署員にお越しいただき、詐欺・空き巣等の防犯についてセミナーを実施。参加者43名	地域の方々 高齢者を含め、振り込み詐欺 空き巣等についてセミナーを受ける事によって実施前よりは防犯意識が高くなったと思います。	防犯意識は一回のセミナーで終わらず何回も実施することによって身につけてくると思います。			結果として、費用がかからずに実施できたが、地域での地道な活動が犯罪の抑制に繋がることを期待する。	危機管理課自治振興費
きたてしまプラザまつり事業	30	補助金 30	協議会の活動状況を年に1回、地域住民に広くPRすることを目的として祭典を開催する。	協議会の活動状況(各提案事業 各文化活動作品 発表の場)を年に一度11月にプラザまつりを開催し、協議会活動内容のPRを行っている。協議会発足以来、足かけ9年になるが協議会としてPR不足を感じる。	11月29日まつりを開催する事によって各事業 文化教室の内容を披露しPRする。又一方では子供達が販売価格を決め、不要になった手持ちのおもちゃなど販売、ガレージセールを実施する。 屋敷の接待(カレー有料)等実施し、協議会活動状況のPRが出来た。	年に一回の協議会としての祭典を開くことによって活動内容の理解を深めてもらっている。	各文化教室の充実を図って行きたい。		きたてしまプラザは地域拠点運営の成功例として、協議会活動の発展に大きく貢献している。多くのイベントを展開いただいております。今後も継続しながら更なる充実を期待する。	各文化教室の充実を図って行きたい。	親光・ふれあい課自治振興費

各部会でもまとめられていたものを役員会で決定する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

地域行事活動促進事業	75	補助金	75	校区盆踊り大会と地域内行事の支援を行う。	地域の住民どうし多くのコミュニケーションが図れる場として盆踊り秋祭りイベントがあり、各地とも少ない予算で運営されております。開催に必要な備品が揃えることが出来なかった。	事業執行によって少ないながら地域行事イベント備品を補助金で揃える事が出来た。	各行事とも多くの方々の参加によりコミュニケーションが図れた。	多くの方の参加があったとは言え、地域から見た場合まだ参加者が少ないので地域の自治会と回り、参加者増員方法を考えていく。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
サイクル&エコカーニバル運営事業	30	補助金	30	サイクル&エコカーニバルに必要な備品を購入し、行事の活発化を図る。	毎年市主催のサイクル&エコカーニバルが宜真高校の校庭で開催され、エコについての啓蒙活動が実施される中、協議会PRとして当初は有償で飲料サービスを行っていましたが他の参加企業等すべて無償提供で行っております。	当協議会発行のコミュニティ紙を配布し、飲物(コーヒー)接待ですが補助金で無償化実施できた。	コミュニティ紙配布により協議会について一定のPRが出来た	昨年も課題提案を致しましたがすべての参加企業も低額の有料サービスにして行くべきではないか。	当該イベントにおけるコーヒーは来場客から人気が高く、運営に寄与している。販売しているブースも存在するので、低額有料サービスも検討課題である。	環境にやさしい課 自治振興費
環境美化ウォーキング事業	39	補助金	39	継続的に地域の清掃活動を行うために必要な備品を購入し、子どもたちを含む地域住民が地域美化運動を展開する。	公園等表通りはそれなりに清掃されているが路地等にゴミが目につくと情報もあり、待機美化啓発運動として協議会活動を計画した。	第1回目は6月22日に豊島南地区の予定であったが降雨の為、豊島東公園内清掃活動を実施した。参加者79名 第2回目は住吉地区で実施、参加者58名	美化運動実施中ののぼり立て、ベストを着用しゴミ袋 約20袋を回収 住民に対して一定の啓発が出来た。	継続的に美化運動を実施することによって地域で美化運動定着化を図っていきたい。	地域住民自ら企画するイベントとして定着してきており、美化運動の推進につながっている。	環境にやさしい課 自治振興費
環境にやさしいエコクッキング講習会開催事業	40	補助金	40	楽しい食事ができ環境に配慮した家計に優しいクッキングスタイルの講習会を開催する。	地域の主婦を中心に環境改善を考え、飽食の時代の中で毎日の食事作りから環境にも家計にもやさしく、楽しい食事が出来る、クッキング講習会開催の要望。	12月7日NPO『プロサポート』の協力を得て、27名の参加もあり、普段は廃棄するような野菜等利用し、簡単な美味しい料理が出来ることを勉強した。	普段は捨てるような野菜等を利用し、副食材が出来ることが経験できた。他に柑橘類の食べ比べて栄養分どの部分に多いか勉強になった。	平成27年度も継続して開催したい。	食材の有効利用だけでなく、栄養分の比較など食育にも取り組んでおられ、地域の環境食育啓発に貢献している。	環境にやさしい課 自治振興費
子育て支援事業	670	補助金	670	毎週3回5時間 あそびの広場を開催し、紙芝居や絵本、TVシアター等親子のふれあい遊びと子育ての悩み等を関係者とともに語り合う。	継続事業ですが当地域には以前から未就学児に対して子育て施設がなく、公的支援のない中、子育て中の母親より子育ての仲間グループ設立の要請で『おたけ』が設立され、当協議会が事業として支援をする。	木田弘子氏中心にプラザ内の一室(ふれあいルーム)を開放し、テレビ等によるシアター劇場童話の読み聞かせや市より支給のおもちゃ等での遊び、秋の運動会 芋掘り クリスマス会 夏の水遊び等『おたけ』が運営され、平成26年度未就学児とその保護者3,241名の参加がありました。子育ての悩みなど話し合え、好評を得ている。昨年度より指導員有償ボランティア制度を導入、自主運営費にて処理。	母親たちにも好評で幼児を明るく元気に育て、自分自身の子育て悩みなど共通した話題が出来、参加者も年々増えつつある状況で事業効果は上がっていると思います。個人相談室や3歳児中心の『びよびよクラブ』等開設	木田氏を中心に事業活動を展開しているが内容から見て有償ボランティアに切り替えが限度あるので検討を加えたい。出来れば何かの形で市の支援をお願いしたい。	子育て支援課 自治振興費	
豊島東公園及びバスケットコート維持管理事業	214	補助金	214	青少年の健全育成を図る事業。定期的清掃作業用具の購入と時間外侵入者防止用門扉の開閉管理等を引き続き行う。	土日は多くの子供たちがバスケット競技に打ち込み、コミュニティが図れている	バスケットコート防音壁の恒久化、高齢者向け 幼児 児童向け遊具 ランニング用トラック等新開西空港線又は市の支援により完成。休日等には青少年の歓声が響き、親子連れ 高齢者の利用度盛況である。開場時間管理継続実施。	高架下公園で条件は良くないが人気のある利用度の高い公園で青少年のコミュニケーションが図れる場として役に立っている。	高架下でもあるが今後 青少年 親子づれ、高齢者等が憩う明るい公園に環境整備をしていきたい。	バスケットコートを含めた公園の一部管理を地域で実施することで、良好な状態が保たれている。	みずとみどりの課 自治振興費
青少年育成バスケット大会事業	15	補助金	15	地域青少年の健全なスポーツ活動を支援する。	整備いただいた豊島東公園(バスケットコート3on3)で子供達が多く遊ぶ中、より多くのコミュニケーションを図れる場を持ちたい。	平成26年度では天候不良のため中止となったが、平成27年度の実施に向け、備品(バスケットボール)を購入した。	平成27年度の実施に向け、より充実した大会になるよう準備することができた。	チーム編成が大変な為、より広く大会をPRし、参加者を募集していきたい。	雨天中止のため評価は出来ない。	生涯学習推進課 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	150	行事報償金	150	住民間のコミュニケーションを図る、校区レクリエーション大会に必要な備品の購入を行う。					雨天中止のため評価は出来ない。	生涯学習推進課 社会体育振興費
計	8,110			事業提案限度額 9,218千円	次年度繰越金額 1,008千円					



地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

これは地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金	100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。							地域分権・協働課 自治振興費
地域掲示板設置事業	263	修繕料	263	老朽化した地域自治会の掲示板を取り替え、地域団体と共に使用出来るようにする。	地域内（姫室町自治会）にある掲示板の老朽化が激しいため、広報活動に支障があった。	老朽化した掲示板に変わり、新たに設置した掲示板は、ワイドで大きなポスターも充分張ることができ、住民からも賛辞の声があった。	ワイドで見やすい掲示板に付け替えたため、地域の広報活動が活発化した。	地域のお知らせや地域コミュニティ推進協議会の活動も、この掲示板を通じて地域住民に広く知らせることができ、今後も広報活動の充実を図る。			地域分権・協働課 自治振興費
公園整備事業	981	修繕料	981	桃園公園の設備を充実させ、地域住民の「憩いの場」を活性化させる。	桃園公園の設備を充実させ、地域住民の憩いの場を活性化させる。	昨年度の公園整備に続いて、今年度は遊具の充実に焦点を合わせ、広々とした空間と各種遊具の設置により、市民の憩いの場を創造できた。	市民の利用がこれまでと大きく変わり、毎日多数の親子連れが訪れ、まさに市民の憩いの場として賑わっている。	遊具の補充も計画的に検討しながら、安全な遊び場をめざす。			みずとみどりの課 公園費
水路安全柵整備事業	540	修繕料	540	高齢者などの歩行者が安全に通行できるよう、開渠の用水路に転落防止柵を設置する。	児童の登下校時に利用する通学路に、柵のない水路があり、児童にとって危険な箇所であり、転落事故が発生しないかと気になっていた。	転落事故の可能性のある危険な水路に転落防止柵を設置したことで、転落事故から子ども達を守る事ができる。	転落防止の安全柵の設置により、登下校時の児童の安全を確保できた。近隣の住民たちからも安全確保の声が聞こえてきている。	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。			みずとみどりの課 用排水対策費
道路安全対策事業	200	修繕料	200	歩行者の安全の確保するため、見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置する。	交通事故等の危険をはらんでいる交差点に安全な施策を推進して事故の防止を図る。	カーブミラーの設置により、死角が解消され安全性が向上した。	これまで見えにくい人や車の往来がカーブミラーの設置で確認でき、子どもやお年寄りを交通事故から守れるようになった。	地域内には、まだまだ危険な箇所が点在しているので、カーブミラーの設置を順次検討していきたい。			道路課 交通対策費
街路灯強化事業	37	修繕料	37	安全・安心なまちづくりの一環として防犯対策強化を目的に街路灯を整備する。	地域内の街並みでうす暗い道路等に街路灯を設置し、安全確保に努める。	地域内（桃園町内会）に街路灯を設置することにより、夜間の安全を確保することができた。	市民が通行する道路に街路灯を設置したことで、地域住民から安心して夜間の通行ができるとの喜びの声が聞こえてきた。	地域内のうす暗い場所等に安全確保のため、街路灯の設置を進めていきたい。			道路課 交通対策費
呉小吹奏楽クラブ支援事業	320	校用器具費	320	呉小吹奏楽クラブの楽器購入を支援する。団体の活動支援を行う。	呉服小学校の吹奏楽クラブの楽器が老朽化していて、正確な音程を出せない状態である。	老朽化した楽器（ホルン）を新規購入することで、古い楽器を新しく入ってくる児童の練習用に活用している。	新しい楽器演奏で技術の向上に役立つとともに、練習用の楽器ができたことで更なるレベルアップが図れる。	年々老朽化する楽器を計画的に買い替えることがこれからも必要と思われる。			管理部総務・学務課 学校管理費
地域コミュニティ紙等発行事業	440	補助金	440	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	協議会の存在や活動内容について、地域全体に広報することで理解をしてもらっている。	校区に居住する住民に、協議会の活動報告を周知することにより、協議会の活動について理解が得られた。	結果、校区に居住する住民から協議会への参画希望が増加し、特に若い世代の人達からの新入会員が得られた。	今後も益々内容の充実を図り、毎年実施している事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。			地域分権・協働課 自治振興費
地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業	537	補助金	537	呉服会館を地域コミュニティの拠点施設として管理運営を図る。	共同利用施設呉服会館の一室を地域コミュニティ推進協議会の活動拠点として、備品等の整備を進めている。	地域コミュニティの拠点として、地域活動の活性化が図られた。	協議会における役員会や各部会の活動が活発に展開され、地域分権推進に大いに役立っている。	小会議室の再整備と備品購入で協議会活動の更なる活性化を図る。			地域分権・協働課 自治振興費
合同防災訓練事業	128	補助金	128	不慮の災害時、地域住民と協力し難局を乗り越えられるよう、住民相互による協力関係を構築するため、呉服小学校区内の合同防災訓練を実施する。	校区内での防災訓練は、昨年まで5自治会で実施していたが、実際の災害が発生した場合を想定した上で、今年度より8自治会合同で実施した。	呉服小学校の校庭及び体育館を活用して、合同防災訓練（8自治会）を実施することで、地域住民同士が一体感を得ることができた。	不慮の災害時、自主防災会と地域住民が協力して難局を乗り越える事ができるよう、相互信頼の構築ができた。	防災訓練の内容をより充実させることにより、地域住民との信頼関係をさらに向上させること課題と思える。			危機管理課 自治振興費
青バト隊パトロール活動事業	215	補助金	215	青バト隊による地域巡回活動を行い、各種犯罪の抑止効果を図り、安全な地域環境をつくる。	青バトでの呉服小学校区内巡回パトロール実施により、各種犯罪の抑止効果を図る。	呉服会館敷地内に設置した青バト駐車場を拠点に、隊員による巡回回数や巡回範囲の拡充を図ることで地域の安全確保ができていく。	呉服小学校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止効果に車両を活用できた。	より一層の巡回活動の充実を図る。			危機管理課 自治振興費
これはフェスタ・これは祭り開催事業	1,200	補助金	1,200	これはフェスタ、これは祭りを各種団体と協働で開催する。地域の人と人との繋がりを深め地域コミュニティの活性化を図る。	これは地域内のコミュニケーションの充実を図ることを目的に合同で祭りを開催する。	地域内の各種団体の協力を得て、ステージをはじめ模擬店等で盛り上げていただき、地域内のコミュニケーションの充実を図ることができた。	今年度は2回目ということで、呉服小学校PTAとのコミュニケーションも図られ、祭りを盛り上げることができた。また、PTAの方々の協議会への入会もあり、大きな収穫である。	地域内のコミュニケーションを今後も積極的に図り、地域のつながりを広げていきたい。			観光・ふれあい課 自治振興費
呉服小学校花いっぱい運動支援事業	100	補助金	100	地域と学校と一緒に実施する「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動の支援を行う。	昨年度より引き続き実施している事業で、地域と学校と一緒に花を育てる活動を支援する。	「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動を支援する。	呉服小学校と地域と一緒に花を育てるプロジェクトに参加し、子ども達が花を育てる喜びを感じ、感性豊かな心を育む事ができた。	感性豊かな子ども達を育てていく事業にも、今後も積極的に対応していきたい。			環境をまもる課 自治振興費
交通安全体験イベント事業	648	補助金	648	子どもを交通事故から守り健全な育成を図るため、体験イベントを実施する。	各種の交通安全施策を推進しているが、交通事故が絶えることはなく、小さな子供たちやお年寄りを交通事故から守ることを目的とする。	スタントマンによる疑似交通事故の実況を目の当たりに見て、戦慄が走る感覚は刺激的であり、交通事故の怖さを十分に体験できた。	交通安全体験イベント事業に参加した子供たちは交通事故の怖さを見聞し、神妙な面持ちで交通安全を直していただこうです。	これからも交通事故には十分配慮しながら、安全確保に努めていく。			交通・総務課 自治振興費

各事業責任者の意見を聴き、協議会で決定する。

青バト隊の充実のみならず、水路安全柵や街路灯設置など地域の安全対策が強化されていると評価。これは祭り、これはフェスタはPTAとの連携も図られ、協議会の拡充に繋がっており、今後ますますの発展を期待する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

MTPフェスティバル支援事業	200	補助金	200	池田地域コミュニティ推進協議会と協働で、MTPフェスティバルの支援を行う。	池田地域コミュニティ推進協議会と共に、MTPフェスティバルの支援を行う。	小学校区から中学校区へと範囲が広がり、また、他の地域コミュニティとの交流も活発にできた。	MTPフェスティバルに当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れた。	他地域の行事への報奨金も検討しながら、フェスティバルが活性化するよう努める。			池田地域コミュニティ推進協議会のMTPフェスティバル実施事業に同じ	教育政策課 自治振興費
グラウンドゴルフ実施事業	70	補助金	70	高齢者と若者が一緒にグラウンドゴルフを行い、スポーツを通じて地域コミュニケーションを図る。	グラウンドゴルフの普及とスポーツを通じての地域のコミュニケーションを図る。	年3回のグラウンドゴルフ大会を開催することにより、地域住民同士のコミュニケーションが図られた。	参加者は会を重ねることに増加し、今年度は小学生の参加も見られ、グラウンドゴルフを通じてのコミュニケーション作りは効果あり。	若者の参加が得られなかったことなど、今後の広報活動や運営の方向性に検討の余地あり。			より良い事業になるように図りたい。	生涯学習推進課 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。コミュニティ意識の向上に努める。	地域のスポーツ振興会が開催している市民レクリエーション大会を支援する。	当協議会が行事報償金として支出することで、地域住民のコミュニティ意識の向上を図る。	市民レクリエーション大会に当協議会が参画することで地域住民のコミュニケーションの向上が図れた。	他地域の行事報償報奨金とも検討し、校区の市民レクリエーション大会が活性化するよう努める。			事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費
計	6,079			事業提案限度額 9,388千円	次年度繰越金額 3,209千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

石橋地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100									地域分権・協働課自治振興費
防犯カメラ設置事業	1,000	電気使用料 18 修繕料 982	安全で安心な暮らしの実現に向け、さらなる街頭犯罪件数の減少を図るため、防犯カメラを設置する。	国道176号線と通称池高通りが交差する道路は、関西でも有数の複雑・難易の交差点の一つでこの場所をスムーズに交差出来る案が見つかれば警視総監賞ともいわれている。以前から交通事故と犯罪軽減と啓蒙のために防犯カメラを設置してほしいとの要望が強かった。	国道176号線の南側、井口堂会館の2階部分に、フィットネス側に向けて1台、4差路の交差点に向けて1台、176号線の池田方面に向けて1台の計3台を設置した。10月27日設置。	設置後、何件かの交通事故に関連する開示請求があったに聞いている。事件、事故、犯罪の軽減と啓蒙に役立てばと考えている。	防犯カメラの設置によって、事故、犯罪の検挙率が飛躍的に高まり設置効果は確実にあがっているようである。市内中が防犯カメラで四六時中見張られているのはいかがななのか？という声があるのも事実である。いずれにしても、犯罪、事故、事件の軽減社会が望まれるが、複雑な社会情勢もあり中々難しい問題である。			地域の危険箇所にて防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する。また継続的経費について理解し、設置場所について十分の議論・調整の上、提案を期待する。	危機管理課自治振興費
地域内会館設備整備事業	4,730	修繕料 4,500 補助金 230	井口堂北会館のトイレ及び設備を整備し、利便性の向上及び環境の整備を図る。また、安全性向上のため防犯センサーを設置する	井口堂北会館トイレ(1,2F)男女一緒、洋式トイレ2台であったが、アコーディオンカーテンで区切るものであった。タイルにしみついたトイレ臭が気になっていた。井口堂北会館内に掲げている黒板類は、調理室を除きチョークで板書きしているため、チョークの粉が飛び散り、使用後の清掃の時にも咳き込んだりして害を生じる等の意見が多く出ていた。	高齢者の方々だけでなく利用者皆さんから、明るく衛生的、快適なトイレと評価を得ている。黒板を全て移動式ホワイトボードに更新した事により、粉受けや消し板の清掃が解消された。導入したホワイトボードは、軽く移動式になったため、後方座席の人にも見易い場所まで移動することが出来る。	会館利用者の増加と、地域コミュニティ推進協議会の活動を知ってもらえる。住民参加、PRにつながる。チョークを使用しないため、健康面への配慮も不要となった。軽量で移動し易く、参加者に示す資料を貼り付けと記載することが重なるときには、他部屋の使用していないボードをスムーズに移動することが出来る。	地区内にある他の会館トイレについても検討。他の会館の更新時期や取り除いた黒板をどの様に保存、処理するのか？消耗が早いボード用マジックをどの様に購入するのか？			トイレ改修により会館の利便性が向上した。今まで以上に会館利用いただけることを期待する。整備いただいた備品を有効に活用いただき、地域の活性化に寄与することを期待する。	地域分権・協働課共同利用施設管理費自治振興費
AED管理事業	42	消耗品費 42	使用期限の切れるパッドの交換を行う。	井口堂北会館、石橋北会館、旭丘会館にAEDを設置している。	各会館のAEDのバッテリー、パッドを定期的に交換している。		設置場所の管理人さんや、利用する方々に突発的事態に対処出来るように、定期的に講習をうけてもらうこと。				健康増進課保健衛生総務費
交通安全モラル啓蒙事業	376	修繕料 376	交通安全モラル高揚させるため、啓蒙看板を設置し、交通事故を防止し、事故を減少させる。	最も身近で便利な乗り物である自転車の普及によって、人、車、自転車同士の事故が全国でも多発しており、高額な賠償費の請求事例も発生している。池高通りを石橋駅に向かう下り坂でも2人乗り、スマホしながらのながら運転が横行しマナーの悪さが目に余る。啓蒙看板を要所に設置して事故の軽減と啓蒙に取り組みたい。	3月下旬にリカーショップゆあさの裏の市道道路鉄柵、石橋公園西側の急カーブの道路鉄柵に啓蒙看板を一基ずつ、井口堂ミニコープ前の電柱に巻き啓蒙看板を1基設置した。いずれも2人乗り違反の啓蒙イラスト看板である。	徐々にその効果が見えてくれば幸いである。	啓蒙看板のみならず、学校や地域でも地道に啓蒙活動を継続していくことが重要であると考え。特に学校の授業の一環でマナー向上や登下校下でも安全運転の励行を放送するなどして啓蒙、啓蒙指導が必要と考える。			自転車運転者に対する注意喚起だけでなく、歩行者に対しても自転車の安全利用意識を高める効果があると考えられる。	交通・総務課交通対策費
街路灯強化事業	30	電気使用料 30	ひったくり等の犯罪が多発しており、安心安全の向上のため、街路灯の整備増強を図る。	地区内の街路灯について、破損や照度不足の街路灯について順次取り換えていっている。	今年度は、井口堂3丁目7-18のコスモマンション入り口付近の市電柱に街路灯を1基新設。旭丘3丁目1-7の河島齒科近くの街路灯の照度アップを図った。	地域内を夜間に歩いて見て回ったが、最近LED外灯の普及が図られ夜間でも、街全体が非常に明るくなり安心、安全な街割りが進んでいると思われる。				街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課交通対策費
地域コミュニティ紙等発行事業	589	補助金 589	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	年3回発行。編集会議を行う。地域の事業や行事のスケジュールの確認、地域内で話題になっている事や地域全体の様子を出し合い、発行時期の決定。	発行時期に合わせた行事、事業取材して記事にしていく。取材や写真を通してそれぞれの事業の目的が「いしばし」を通して気付いてもらった。		石橋地域が広くなり、旭丘も「つうしん」に載ります。記事の取り方、地域性のアピールの仕方をどうしていくか少し問題になりそうです。			各事業を多くの写真で紹介するなど読みやすく工夫されている。地域の拡大に伴い、ますます紙面充実と広報の活性化に期待する。	地域分権・協働課自治振興費
地域内会館備品運営事業	350	補助金 350	井口堂北会館に整備した備品の運用を行う。	25年度から始めた継続事業で、従前は石橋校区内にある各種ボランティア団体の会議資料、案内状やポスターを作成者がコンビニや学校のコピー機等を使って不便、経費が掛かり過ぎた。	会議資料は、会議前に速やかに、大量の数量も印刷することが出来る。会議中に決定や変更事項もその場で印刷、配布が可能で再会議の案内連絡等する手間が省かれ、効率になった。	資料等の作成者の時間繰りが容易になり合理的になった。団体の印刷費負担が軽減され、各活動の予算経費に生かせるようになった。	コピー印刷機の設置場所が2階廊下に置いてあるため、使用している部屋に印刷機の音が響き再三クレームをうけている。廊下のため空調が効かず、夏暑く、冬寒さに苦慮している対応として会館内の空部屋を整備して格納設置場所としたい。			印刷機活用による活動の効率化が図られている。使用環境の改善については、早急な対応をお願いしたい。	地域分権・協働課自治振興費
地域防災体制強化等事業	673	補助金 673	自主防災組織の体制強化を図るため、防災倉庫に防災備品を整備する。また、防災訓練を関係各所の協力のもと開催する。	4か所の防災倉庫に、ハード・ソフトの備品を過去4年間にわたって取り揃えてきた。地域コミュニティのメンバーや、地域住民の皆さんのご意見を参考に取り揃えてきた。昨今、異常気象による短時間記録的集中豪雨によって、各地で甚大な被害がでている。当地区でも水害や突風の被害が懸念される。夜間や強風雨時の避難対策として、今年度は豪雨、夜間避難対策としての防災備品を取り揃えてみたい。	長靴、雨かっぱ、ライト付ヘルメットLEDヘッドライト、夜間用の投光機、ゴム手袋等、雨天や夜間を想定した防災備品を取り揃えた。又、簡単テントも利用範囲が広いと思い1張り購入した。	RVボックスを各倉庫に2個ずつ購入したので、小備品を整理していざという時にスムーズに使用出来るように整理、整頓し現在ある備品の把握にも努めていきたい。	備品に関しては、地域住民の皆さんの要望を吸い上げて取り揃えるようにしていきたい。訓練に関しては、公助を得られるまで持ちこたえられる住民の自助、共助意識の高揚と思いやりの気持ち、そして防災リーダーの統率力と普段の日常生活からの近所同士の連携とチームワークづくりが必要と思われる。特に高齢化社会に向けての取り組みが急がれる。若者世代では、子供を通じてある程度の連携が保たれていると思われるが、子供が一立ちするにつれて徐々にその連携が希薄になってくるので。27年度は、石橋中学校、石橋小学校5、6年生、万寿荘、石橋保育園と合同で11月に合同防災訓練を行う予定である。災害は何時起こるか分からない。地域の中・小学生の力が必ず必要になってくると思われる。	各部会でまとめられたものを、役員会で決定する。他の会館の更新時期や取り除いた黒板をどの様に保存、処理するのか？消耗が早いボード用マジックをどの様も購入するのか？	井口堂北会館に対して大きく改修等を実施し、地域の利便性の向上に寄与した。校区変更に伴い地域が拡大した分、あらためて地域一体となって事業実施、また活性化に取り組んでもらいたい。	危機管理課自治振興費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

地域行事等活動促進事業①	300	補助金	300	納涼大会等を実施する地域団体に電気設備設置及び活動運営を支援して、コミュニティ活動の充実を図る。	納涼大会を存続の為に必要な経費への地域のご支援、ご協力の限界がみえてきびしい状態にあった	補助金の充当により従来同様の納涼大会の開催が可能となり存続実行することができた	出店も含み企画、運営全てを地域住民の手で行っている夏の大きな行事に他の地域からも多くの参加を得て例年同様盛大に実行できた	物価上昇の折、納涼大会の趣旨にご理解ご協力をいただきたい		事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
地域行事等活動促進事業②	400	補助金	400	地域の活動事業の際に着用するスタッフのユニホームを更新することにより、意識の高揚と活動の認知度を高める。	スタッフと一般参加者の区別がつきにくかった	スタッフと一般参加者の区別がはっきりしたので分からない事をききやすかったという意見があった	ユニホームを着用する事により各々が活動の認知をし団結がうながされた	スタッフに配布、及び回収の手順等検討中		事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
地域美化整備事業①	82	補助金	82	美しい街を目指すため、啓発用ポスターやチラシ等を作成し、地域住民のモラルの向上を図る。	大分改善されてきたが、石橋駅に向かう道路へのたばこのポイ捨て、居宅周辺(道路脇、側溝)の雑草が目につき、街の美化が損なわれている。ペットの糞もいまだに散見される。	ペットの糞の放置は一部の常習者、居宅周辺の雑草放置も一部の居宅に絞られてき、大半の方は糞の後始末、居宅周辺の雑草刈り取りをしてきている。たばこのポイ捨てについては、ある地域を調査したところ半減(前回155本→今回72本)していたが、大幅改善とは言えず、今なお目につく状況にある。	徐々にではあるが、美しい街づくりに向けて改善されてきていると考える。又、地域住民の心ある方々の「美しい街づくり」をしようとする意識、モラルが向上してきたと思われる。同時にコミュニティとしての一体感も深まってきたと感じている。	平気で道路を汚す一部の非協力的な人(住民、通行人)をいかに意識づけし、協力してもらおうか。例えば、ペットを散歩させているとき後始末用具を持たない人への注意。くわえたばこで歩いている人には、携帯灰皿を手持ちしているかの確認等、反発を買わない注意喚起の方法も考えたい。		地域主体の継続的な活動で徐々に効果がでてきており、美しいまちづくりの推進に貢献している。	環境にやさしい課 自治振興費
リサイクル活動事業	30	補助金	30	ペットボトルキャップの回収リサイクルを行う。資源の有効利用を図ると同時に住民の意識を高める。	ペットボトルキャップの回収リサイクル及び資源の有効利用への住民意識を高める事を昨年同様に行う	事業継続により、住民の意識も高まり回収量が増加した 民間企業へのボトル(回収)設置も実現した	ゴミとして捨てられていたキャップが資源の再利用として生活用品になってもどってくる事が住民に理解され意識を高める事につながっている	広報活動の充実		地域の広い範囲に回収箱が設置され、回収量も増加してきており、地域のリサイクル意識の向上に繋がっている。	環境にやさしい課 自治振興費
地域美化整備事業②	70	補助金	70	ガーデニング教室の開催し、花や緑あふれた「美しいまちづくり」を目指す。	地域のご家庭では花々の鉢植えが大半で、多肉植物の鉢植えはほとんど見かけないように、多肉植物の寄せ植えについては、知識も乏しく、関心も無いという人が多い。	参加者全員が、10種類のミニ多肉植物を使って創作寄せ植えに挑戦し、それぞれが満足いく作品を完成させることができたことで、多肉植物の寄せ植えについての知識、関心が高まった。	参加者を中心に、今後多肉植物の寄せ植えが普及していくことが期待される。石橋地区は、歩道が少なく、街路樹が植えられないため、家庭のガーデニングを推進する必要がある、ガーデニング教室はその一助となる。	「汚れないキレイな街づくり」から「花と緑にあふれた街づくり」へとステップアップさせるため、今後も「家庭でのガーデニング技術の向上、普及」に取り組みたい。講習会としては、もっと参加人員を増やし、参加費を徴収することにより、事業予算を軽減していきたい。		地区の課題に対し積極的に緑化に取り組む姿勢が評価できる。各家庭のガーデニングが地域の緑化へつながることが期待できる。	環境をまもる課 自治振興費
公園整備等事業	67	補助金	67	石橋公園を憩いの場として活用されるよう、花壇の花囲い等を行い、機能の充実を図る。	花壇は、枠囲いが無く、土盛りしただけなので、雨で土が流出していた。芝生化予定地は春から秋にかけて、雑草伸び放題となって、立ち入りできず、活用されていない。	花壇は枠囲いした結果、土の流出がなくなり、見栄えも良くなった。80㎡を芝生化したが、何とか芝生が根付いてきている。春になって芝生化していない場所は雑草が目につきたしたが、芝生化した場所は雑草もほとんど無く、人の立ち入りが可能となっている。	花壇の整備や周辺部の芝生化によって、憩いの場としての公園の機能、役割をレベルアップすることができた。環境部会委員が手づくりで実施、完成させたことで、プロに頼らず素人でもできるという自信が生まれた。(経費節減面の効果も大きい。)	今後も花壇の充実、芝生の拡大につとめ、公園をより憩いの場となるよう整備していきたい。石橋公園については、「砂場の拡張」「遊具回りの土砂流出防止」「トイレの洋式化」等を推進したい。		石橋公園の花壇管理を実施することで、地域の目が行き届く、安全で安心な公園となっている。	みずとみどりの課 自治振興費
異学年交流事業	100	補助金	100	異学年交流により上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生を慕い敬う人間関係を幼少期から育成する。	同学年、同クラスの交友より希薄となりがちな異学年との交流により上級生は下級生をより下級生は上級生(祖父母、両親等)を慕い敬う人間関係を育成し、地域住民間も顔馴染みとなり、仲良くなるように仕掛ける。	登下校の通学時や歩行時に交流会参加者児童から挨拶、目礼を送り親しさを表し、地域住民同士も挨拶する光景が増えた。	子ども会と協働で開催し、計画段階でPTA役員や親父の会も協働の申し出があり多くの人が知り合いになった。近々の天候が不順で計画の変更かとの心配も、皆の団結で天候に恵まれ、多くの子ども、住民が参加してくれて美味しく、楽しく、可笑しく、参加者全員が楽しい時間が過ぎた、今後も継続的に開催して欲しいとの要望する声が多くあった。子ども会への加入促進に一翼に担えた。	今回、お手伝いや参加出来なかった人呼び込み、事業内容を募集する等考慮して行事化を推し進めたい。		校区の子ども会との協働により、楽しいナイト・フェスティバルが開催され、多くの児童・地域住民が参加。年代を越えた交流が深まった。その中で、子ども達は、異学年間での助け合い姿が見られ、さらには企画・運営に携わった大人同士も親密な交流が図れた。有効な事業として評価できる。	教育センター 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の向上とコミュニティ活動の充実に努める。						事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費
計	9,039			事業提案限度額	11,643千円	次年度繰越金額	2,504千円				

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

五月丘地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
	交付金	説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
地域内会館設備改修事業	4,340	修繕料 4,000 庁用器具費 340	五月丘会館の調理室をリニューアルするとともに、調理器具の機能更新を行う。	五月丘会館の調理室は、経年変化で床のタイルが剥がれ、調理台の使い勝手が悪く、オープン、炊飯器などの調理機器も陳腐化して更新は時間の問題。	床をバリアフリー化して全面張替え、据え付け調理台や調理機器の更新を行い、壁面の塗り替えも行った。	使い勝手が良くなったので、料理教室やイベントの障いなど利用回数が増加すると思われる。	調理した食べ物が原因で食中毒など事故が起らないように、食べ物の取扱いに細心の注意を促す必要がある。				地域分権・協働課 共同利用施設管理費
防犯カメラ設置事業	1,000	修繕料 994 電気使用料 6	安全で安心な暮らしの実現に向け、さらなる街頭犯罪件数の減少を図るため、防犯カメラを設置する。	犯罪抑止、交通安全の面から、五月丘交差点とUR中央集会所東南角のやまざくら通り交差点に防犯カメラを設置している。	五月丘小学校北西角の府道9号線交差点ほか2ヶ所に増設した。	設置したカメラの支柱に防犯カメラ作動中という看板が付けてあるので、犯罪の抑止効果がある。今までないが、交通事故の解明にも効果がある。	カメラの設置場所は、ほぼ公共の敷地に限られるので、増設していくが場所的な制約がある。				危機管理課 自治振興費
防犯カメラ管理事業	12	電気使用料 12	防犯カメラの電気代を賄う。	五月丘交差点など4ヶ所に設置した防犯カメラ維持管理のための電気料金など。	五月丘交差点など4ヶ所に設置した防犯カメラ維持管理のための電気料金など。	維持管理に必要					危機管理課 自治振興費
緊急通報装置管理事業	2	電気使用料 2	緊急通報装置の電気代を賄う。	通報装置の機能維持のための電気料金	通報装置の機能維持のための電気料金	犯罪の抑止効果	警報装置に対して、時々子供のいたずらがある				危機管理課 自治振興費
イベント運営設備整備事業①	300	器具費 300	地域が行うイベントをより充実したものにするために、五月丘小学校に収納庫を整備する。	増加するイベント用機材の収納場所に小学校の倉庫を利用するのにも限度があるとの思いがあった。	五月丘小学校西校舎裏にイベント機材用の収納庫を設置し、小学校の倉庫に置いていた機材を新設収納庫に移した。	学校に不便をかけることがなくなり、イベント機材の確認も容易になった。	今後も機材が増える傾向があり、収納を考えた機材の調達が必要である。				生涯学習推進課 社会体育振興費
AED管理事業	88	消耗品費 88	使用期限が切れるバッテリーの交換を行う。	五月丘会館、ビューグランド池田五月丘、セブン・イレブンの3ヶ所にAEDを設置している。	設置3ヶ所において使用期限の切れる消耗部品の交換を行った。	昨今、AEDの効用が話題になっており、いつでも使える状態にしておくことが肝要である。一度も使用していない。	地域のハザードマップに設置場所を記載しているが、周知されているか疑問である。使い方に一抹の不安がある。				健康増進課 保健衛生総務費
イベント運営設備整備事業②	115	修繕料 115	地域が行うイベントをより充実したものにするために、五月丘小学校に散水栓を整備する。		五月丘小学校西校舎南東角に南門付近をカバーできる散水栓を設置した。	27年度の五月丘小学校での花プロジェクト事業で花のない南門にプランターを置いて花を植える計画である。	一過性で終わらないように、継続して使用することが大切である。				管理部総務・学務課 学校管理費
イベント運営事業	520	器具費 320 補助金 200	地域交流や地域活性化などに重点を置き、地域住民参加のイベントを行う。	グランドゴルフを継続して実施した。	グランドゴルフの実施に加え、スポーツ振興会が実施していた1月に行う五月山親子ハイキングをスポーツ振興会に委託して行った。	毎年の恒例イベントで、地域住民の触れ合いには貢献したが、目新しい効果はなかった。	従来のイベントに加え、野外に限らない新しいイベントを実施する必要がある。				観光・ふれあい課/ 生涯学習推進課 自治振興費
地域コミュニティ紙等発行事業	270	補助金 270	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	カラー化したコミュニティ紙を年2回発行し、地域全戸に配布業者を通じて配布している。掲載記事はマンネリ化気味である。	紙面にコミュニティ活動の記事だけでなく、地域の公的イベント情報や自治会など地域の団体の紹介なども掲載するようになった。	効果のほどはこれからだが、身近な記事が掲載されれば、もっとコミュニティ紙に興味を持ってもらえるようになり、PR効果も期待できる。	如何に目をひく内容が掲載できるか工夫がいる。				地域分権・協働課 自治振興費
地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業	77	補助金 77	都市再生機構（UR）の北集会所一部を借り上げ、協議会の拠点施設とする。	アルビス五月丘北集会所の受付事務所を拠点事務所として賃借している。	隣接する会議室を第2、第4日曜日にコミュニティカフェとして賃借しており、カフェで使う備品の収容場所にもなっている。	同時に展開したコミュニティカフェの拠点にもなり、利便性は大きい。	カフェ用備品の収納場所になっており、打合せなどコミュニティの事務所としての利用は手狭で出来ない状態である。				地域分権・協働課 自治振興費
コミュニティサロン設置事業	170	補助金 170	地域の人々に情報交換や交流の活動場所としてコミュニティサロンを月2回設置する。	第2、第4日曜日にUR北集会所を借りてカフェを開催し、うち1回は地域住民が楽しめるイベントを開催している。	高齢者のリピーターが増え、高齢者仲間同士の憩いの場になっている。イベント開催時は親子連れが多い。	コミュニティカフェの目的の一つであるコミュニティ推進協議会のPRということでは効果はもう一つであるが、住民の憩いの場として定着した。	第2、第4日曜日という月2回の開催は利用者にとって分かりづらい。毎週開催がベターだが、人的な制約があってつらいところである。				地域分権・協働課 自治振興費

各部会からの報告を受け、役員会でまとめられたものを総会で決定する。

前年度に引き続き五月丘会館に対し大きく改修等を実施し、地域の利便性の向上に寄与した。新規事業であった五月丘フェスタが雨で中止となったのが残念だが、今後もイベントなどを通じて地域の活性化の強化を図りたい。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

地域防災訓練強化事業	50	補助金	50	防災意識向上のため、ポスターの製作と地域をはじめ隣接地域と合同で防災訓練や勉強会を実施する。	地域住民の防災意識向上のために地域内3自主防災組織が合同で総合防災訓練を行う。	今年度も五月丘小学校体育館で避難所訓練を行った。五月丘ハウス管理組合も昨年から継続して参加した。	参加人員が140名と増加傾向にある。	3年間継続して避難所訓練を行ったが、マンネリ化のきらいがあり、来年度は野外での訓練に切り替えたい。	校区内の自主防災組織が合同で防災訓練を実施することにより、地域の連帯が生まれ、今後万が一災害が発生した時減災につながることを期待する。	危機管理課 自治振興費	
電動自転車安全パトロール事業	70	補助金	70	坂道の多い五月丘地域内で、地域住民の協力を得て、電動自転車安全パトロールを実施し、犯罪の抑制を図る。	自転車置き場が小学校内にあるため電動自転車の利用は、先生方が主体の状況である。	前年度と同じ	地域の安全を見守りながらの先生方の利用がほとんどであり、本来あるべき安全パトロールとしての利用は不十分である。	コミュニティの会員が、学校に保管してある1台を持ち出して、パトロールする家が出たが、高齢化が壁になり実現出来なかった。	今後ともパトロール活動の強化に努めていただきたい。	危機管理課 自治振興費	
盆踊り大会支援事業	390	補助金	390	地域団体が実施する、盆踊り大会の運営にかかる経費の一部(会場運営用電気設備他)を支援する。	地域にとって市民運動会に並ぶ数少ないイベントである。照明設備のLED化など徐々に更新しており、明るい雰囲気の中盆踊りしている。	小学生が太鼓を叩くなど新しい試みも行っている。	毎年来場者が増えている。地域にとって欠かせないイベントである。規模的にも他地域に負けなくなっている。	踊っている人たちに音楽が聞こえにくいなどの苦情があり、音響面で設備増強の必要がある。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費	
五月丘フェスティバル開催事業	300	補助金	300	盆踊り、市民レクに次ぐ地域住民の交流・ふれあいの場として、フェスティバルを開催し、恒例行事として定着させる。	地域住民がふれあう場は盆踊りと市民運動会の二つだけで他地域にある地域のお祭りのようなものがない。	盆踊りと市民運動会に継ぐものとして、イベントとフリーマーケットをメインにした「五月丘フェスタ」の企画し、開催の準備をした。	開催当日、明け方から雨になり、残念ながら中止となった。	フェスタ当日に稼働できる人員に余裕がなく、体育館での準備が出来ないことから、企画時に雨天中止としたが、再考すべきである。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費	
花プロジェクト事業	130	補助金	130	小・中学校関係者とともに協働で地域の人々が花を育て、花を通じて人々の心を豊かにする。	小学校3年生が春には花壇へ花苗を移植する。秋には花芽を育て、育った花苗を花壇に移植したり、保育所、幼稚園などの団体に贈呈する。	3年生の授業の一環になっている継続事業。池田土木事務所の期限付事業であったが、コミュニティが事業を引き継いだ。	育てた花を通して、命を大切にするという気持ちを子供たちに植え付ける。PTAも参加し、地域コミュニティのPRにもなっている。	3年生のカリキュラムのひとつなので継続が必要である。	毎年している事業で課題はあるが、子ども達が花を通して地域住民と協働することで、地域のコミュニティの輪が広がることを期待。	環境をまもる課 自治振興費	
昆虫育成等講習会実施事業	90	補助金	90	五月山にカブトムシ等昆虫が生息できる環境整備を行う。	6ヶ所の産卵場のうち、児童文化センターと塩塚公園の2ヶ所の整備をしている。	児童文化センターと塩塚公園の2ヶ所のみ腐葉土の入れ替えを行った。	2ヶ所の腐葉土入れ替え作業に立ち会い、カブトムシの幼虫の調査を行ったが、昨年と違い、両産卵場ともに多数の幼虫を確認した。	産卵場の腐葉土の入れ替えて、多数の幼虫を確認したが、今後の幼虫を使ってのイベント計画もないため、今年度で産卵場の整備は中止する。	これまでイベント開催等で一定の効果がみられたが、今後は計画がなく、地域の動向を見守りたい。	みずとみどりの課 自治振興費	
カルチャースクール開催事業	50	補助金	50	文化的な住民のふれあい・交流の場としてカルチャースクールを開催する。	住民を対象とした勉強会のようなものはない。	ハーブシューズキーパーづくり教室やアルビス五月丘自治会と協賛の映画鑑賞会を行った。	特にハーブシューズキーパーづくりは、会場をコミュニティカフェにしたためか活況だった。	催しの数を増やし、継続することが大切である。	予算を掛けず自助努力により事業目標を達成されている。	観光・ふれあい課 自治振興費	
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。地域コミュニティ意識の高揚に努める。	スポーツ振興会が教育委員会の行事報償金で市民運動会を主催しているが、地域コミュニティが予算枠を計上して支援している。	地域住民の触れ合いの場であり、地域コミュニティの積極的な支援は変わらない。継続事業であり、運営実態も変わらない。	親子で楽しめる地域にとって数少ないイベントの一つ。地域住民の触れ合いの場として積極的に協力していく。	参加者は小学生と親御さんが中心、プログラムを工夫して地域住民の一段の参加が見込めないか。	事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費	
計	8,174			事業提案限度額	10,874千円	次年度繰越金額	2,600千円				

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

石橋南地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目（目）
	交付金	説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
地域内会館設備改修事業①(空港会館)	601	601	空港会館の保育室および休養室を改修する。	①保育室リニューアル事業…老朽化した畳をフローリングに改修 ②休養室畳替事業…老朽化の為、埃やごみが付着しやすく保健衛生上良くない	保育室のフローリングへの改修と休養室の畳替え補修	上記事業の実施により利便性の向上と衛生上の安心・利用満足を得た	地域住民による維持管理(清掃)の実施	各部会でまとめられたものを協議会で決定する。	会館改修から道路整備などハード面を中心に地域の安全性・利便性が向上したものと評価。今後ソフト面でも地域の特性を活かした展開を期待する。	保育室等の改修により、特に子育て世代の利用促進に寄与したものと認識。今まで以上に会館利用いただけることを期待する。	地域分権・協働課 共同利用施設管理費
地域内会館設備改修事業②(石橋駅前会館)	687	687	石橋駅前会館のトイレを和便器から洋便器に改修する。	会館設立後、長年経過した1階トイレの改修	和式トイレを洋式トイレに変更	利用者の安心と衛生面の改善にも寄与した	継続			トイレ改修により会館の利便性が向上した。今まで以上に会館利用いただけることを期待する。	地域分権・協働課 共同利用施設管理費
防犯カメラ設置事業	1,905	電気使用料 60 修繕料 1,845	石橋駅周辺に犯罪の抑止と安全なまちづくりのため、防犯カメラを設置する。	石橋4丁目正福寺～石橋南小南西側周辺に痴漢行為等の発生があり防犯カメラを設置する	正福寺北側中央環状線下に2基 石橋南小学校南西角に1基	必要に応じ警察から開示要請があり対応している	防犯カメラの設置は犯罪の抑止力にもなっている。必要に応じ増設したい。			地域の危険箇所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する。また設置場所について十分の議論・調整の上、提案を期待する。	危機管理課 自治振興費
防犯カメラ維持管理事業	404	設備保守点検委託料 404	校区に設置した防犯カメラの維持管理を行う。引き続き地域内の犯罪の抑止と住民の安全・安心な生活環境を確保する。	地域に設置した防犯カメラの維持管理の為、定期検査とHD等の取り替えを行う。	防犯カメラの部品取替えとメンテナンス	カメラの運用の安定と正確の確保	今後も継続			継続的経費について理解の上、適切な維持管理を望む	危機管理課 自治振興費
避難所案内掲示板設置事業	600	修繕料 600	石橋南地域の安全・安心活動のため、防災資機材を購入配備し、体制の強化・環境の整備を支援する。	地域住民に避難場所を周知する事により災害発生時に安全に素早く避難場所へ導く。	空港地区2ヶ所に設置した。	地域住民の安心・安全に寄与した。	事業の継続			掲示板を設置することで地域住民の速やかな避難が期待でき、被害の減少に繋がるものと期待する	危機管理課 災害対策費
道路安全対策事業	1,035	修繕料 1,035	児童が登下校の際に利用する通学路にグリーンベルトおよびカーブミラーを設置し、児童の安全を確保する。	カーブミラーを設置し、事故防止・安全通行を確保する。 石橋～神田線グリーンベルト化	カーブミラーを空港1丁目地区2ヶ所、住吉2丁目地区1ヶ所に設置 リパティールハウス石橋西側の児童通学路(50m分)グリーンベルト舗装する	地区内の事故防止と安全通行に寄与した。 通学児童等歩行者の安全・安心を確保した。	事業の継続 見守り継続			歩行者の通行帯確保による安全意識の向上及び通行車両への運転マナーの向上に一定の効果があったと考えている。	道路課 交通対策費
道路整備事業	1,641	修繕料 1,641	老朽化した橋を撤去し、新設することで生活道路の安全を確保する。	水路橋撤去・新設工事 昭和14年に架設された橋(石橋3丁目4)が老朽化し耐久性に問題あり。	現存する橋を撤去し新設する。	新設に伴い安心・安全を確信すると共に周辺の美化にも寄与した。	見守りと清掃の継続			老朽化した橋梁を架け替えたことにより、利用者の安全・安心が確保された。	道路課 道路維持費
地域コミュニティ紙等発行事業	307	補助金 307	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	地域内の活動内容、事業実績を地域住民にPRする為に発行する。	地域内各戸に配布する事により当協議会の活動の理解が深まる。	当協議会の活動に対する理解が高まった。	地域の皆さんに、解かりやすく、親しんでもらえるコミニティー紙にしたい。			写真やイラストを用いた紙面となっている。今後より一層地域活性に寄与する紙面づくりに期待する。	地域分権・協働課 自治振興費
地域行事等活動推進事業	130	補助金 130	地域で開催される行事等を主催する団体に、活動推進に係る支援を行う。	地域行事を主催する団体に活動推進(石橋まつり)する為の助成を行う。	地域で開催される行事への補助金	池田市全域の行事であり、且つ近隣の市民にも広く楽しみ・親しまれる行事となっている。	警備・安全対策に引き続き取り組む。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
石橋駅前アーケード看板維持管理事業	30	補助金 30	石橋駅前に設置したアーケード看板に常時照明をつけることにより駅利用者等の視認性を高める。	アーケード看板電気料	アーケード看板の安定運用	石橋駅利用者の案内に効果が出ている。	継続			石橋駅界隈の通行者の視認性を高めた。	地域活性課 自治振興費
ペットマナー啓発事業	52	補助金 52	地域の美化に資するため、ペットマナーの啓発看板を設置する。	石橋南小学校東側植え込みにペットの糞やごみの放置が多く見られる	ペットのマナー啓発看板を3ヶ所に設置した。	飼い主のモラルの向上と周辺の美化にも効果があった。	地域の美化の為必要に応じ設置を考える	地域で課題となる地点へ設置することで、効果的な啓発に繋がっている。	環境にやさしい課 自治振興費		
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の向上に努める。	校区で開催される市民レクリエーション大会の運営費の一部として補助を行う。	市民レクリエーション大会運営補助金	地域住民の積極的参加を得て、健康と交流の場とする事が出来た。	事業の継続と「安全運営」に留意する。	事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費		
計	7,592		事業提案限度額 8,756千円	次年度繰越金額 1,064千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目（目）
	交付金	説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	50	50	協議会の運営に必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課自治振興費
地域掲示板設置事業	400	400	老朽化した地域自治会の掲示板を取り替え、地域団体と共に使用出来るようにする。	1) コミュニティーの掲示板は過去2回増設し、当初の9か所から13か所に設置してきたが、アルビス緑丘敷地内と緑丘1丁目緑荘園には未設置であった。	1) 当該地域との円滑な話し合いの結果、増設することとなった。	1) 当該地域に満足していただいている。	1) 特になし			掲示板を設置することにより地域内の広報活動に大きく寄与することを期待する。	地域分権・協働課自治振興費
AED管理事業	60	60	使用期限が切れるパッドの交換を行う。	1) 以下に設置したAED部品の使用期限切れに伴う交換が必要であった。 鉢塚会館（FRXバッテリー、FR2成人用パッド1、FR2小児用パッド1）	1) 予定通り交換を実施した。	1) AEDの健全性を回復した。	1) 期限管理を確実に行う。			共同利用施設等に配置することにより、多くの住民の安心感を得ることができたと考える。今後も、AED設置・管理要領に基づき、救命講習の受講に努めていただきたい。	健康増進課保健衛生総務費
公園施設改修事業	3,179	3,179	水月公園施設の改修を行う。	水月公園の菖蒲園周辺の遊歩道は地道の為、菖蒲の見頃の梅雨時はぬかるみ、来園者にとって大変不便であった。	雨天時、路面はぬれてもぬかるみは生じない状況となった。	菖蒲を鑑賞しに来園された方々に好評であった。 また、菖蒲園近辺で実施している野点会場でも、泥はねの心配することなく、お客様スタッフとも快適であった。	更に快適な公園となるよう、引き続き、検討する。			路面整備により、イベント開催時の利用と雨天時の通行について、大幅に改善された。	みずとみどりの課公園費
街路灯強化事業	30	28	安全・安心なまちづくりの一環として防犯対策強化を目的に街路灯を整備する。	1) アルビス緑丘から釈迦院へ通じる道は、一部に照明の暗い場所がある。また、周辺に墓地があるため、通行人に不安感を与えている。	1) 防犯灯を設置できる電柱がアルビスの敷地内にあるため、防犯灯の設置は市、電気料金はアルビス自治会が負担することとして調整し設置した。	1) 特に暗かった霊園入り口付近にLED防犯灯を設置できたため、通行人の不安解消に役立っている。	1) 特になし			街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課交通対策費
緑丘小学校設備改修事業	1,530	1,530	緑丘小学校の校庭芝生の育成のためにスプリンクラーを設置するとともに体育館外壁に照明を設置する。	1) 校庭の芝生は、北面と西面にはスプリンクラーが当初から設置されているが、東面には予算の都合で設置されないうままであった。 2) 学校施設は、広く地域住民に開放されており、夜間でも体育館の利用者は絶えないが、校門から体育館までの間がやや暗い状況である。 3) 学校施設は広域避難施設でもあるが、体育館周囲の照明が乏しい。	1) 本年は学校の耐震工事開始が予定されていたが、工事が始まる前にスプリンクラー工事を迅速に対応していただいた為、円滑に工事が完了した。 2) 体育館周囲の合計6か所にLED照明灯を設置した。これにより、従来設置済みの2灯と合わせ、北面と南面に各3灯、東面と西面に各1灯を設置することが出来た。	1) 校庭東側の芝生の保護に十分役立っている。 2) 体育館周囲の照明灯は、平常時は校門から体育館までの間の照明として活用されるため、北側と東側のみの運用としている。非常時は、全周点灯の運用となる。	1) 特になし		1) 緑小の魅力の一つである校庭の芝生の保全が期待される。 2) 日暮以後の学校利用者の負傷の可能性を低減させ、より安全な環境を整備できた。	管理部総務・学務課学校管理費	
地域コミュニティ紙等発行事業	200	200	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	例年、当コミュニティ推進協議会の提案事業、地域のイベント、防災キャンペーン等の内容で、年3回・各4000部を発行し、校区内の全戸配布を実施している。	26年度は、当コミュニティ推進協議会の実施事業の紹介のほか緑小矢野校長先生のメッセージ・8月の豪雨に伴う減災特集・救急安心センターおおさかの紹介・27年度提案事業等を報じたHAMICを3回発行し、地域の全戸に配布した。	花しょうぶ祭りでの野点では、HAMICに印刷された高齢者招待券を利用された方が数十名あった。	今後も地域密着型の記事を報道し、地域分権の普及および地域活性化の一助とする。			豪雨を受けての減災特集、イベントでの招待券活用など地域の活性化に寄与しており、ますますの充実を期待する。	地域分権・協働課自治振興費
地域イベント開催事業	450	450	移動動物園と野だての会を開催し、花しょうぶ祭りを来園者に楽しんでもらう。また、水月児童文化センター前をいこいの広場として定着させコンサートやフリーマーケットを開催する。	1) 23年度に、当コミュニティ推進協議会と水月茶の湯の会で復活させた野点は、多くの方に楽しんでもらっている。 2) 野点の代金は、前年のまま据置きとした。また、無料招待の地域高齢者の条件も、80歳以上のままとした。 3) 移動動物園は、常に行列ができるほど大好評である。	1) 26年度は、約950名の来園者に野点を楽しんでもらうことができた。また、地域の高齢者にとっても憩いの場となった。また、水月茶の湯の会の指導のもと、約30名の地元住民がスタッフとして参加することが出来た。 2) 移動動物園ではやはり行列が出来たが、多くの未就学児童が小動物との触れ合いを楽しんでいた。	1) 幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる地域イベントとなった。	1) 地域のイベントを今後も活性化するため、これらの事業を継続させることが必要である。 2) 野点については、さらに多くの地元住民がスタッフとなり、運営を支えていく必要がある。	各部会でまとめられたものを役員会で決定する。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課自治振興費	
緑丘小学校イルミネーション支援事業	80	80	渋谷中学校ふれあい事業であるイルミネーションコンサートを支援する。	1) 緑丘小学校の冬季イルミネーション用電球の老朽化が顕著であった。	1) 老朽化により球切れとなったものを補充するとともに省エネのLEDライトを購入した。	1) 例年通り、イルミネーションが実施でき、子供たちや近隣住民を楽しませている。	1) 引き続き、球切れ補充の考え方で、適切に支援していく。			緑丘小学校で毎年恒例の行事として定着し、今回で16回目の実施。美しいイルミネーションは多くの方を魅了し、地域のコミュニティを深める大切な事業である。	教育政策課自治振興費
キッズランド支援事業	80	80	緑丘小学校で行われている「キッズランド」で使用する備品及び教材を購入し、充実したキッズランド活動を支援する。	1) 緑丘小学校でのキッズランド活動において、必要な備品が消耗し活動に支障をきたしている。	1) 今年度は、バドミントンセット等5種類の運動用具を補充した。	1) 今年度補充した運動用具を有効に活用し、キッズランドを充実することが出来た。	1) 地域住民による子供の見守り活動の一環として、引き続き、キッズランド活動を支援していく必要がある。			キッズランドで使用する遊び道具等を補充したことにより、幅広い活動が可能となり、活動の充実につながっている。有効な事業として評価できる。	教育センター自治振興費
ふれあい講習会開催事業	550	550	星座観察会を通じて親と子のふれあいの場を提供する。子どもたちに、本格的な音楽に接する機会をつくるためのイベント「音楽の宝箱」を開催する。	1) 例年、夏は体育館でのイベントと天体望遠鏡による星座観察、冬はプラネタリウムと天体望遠鏡による星座観察を行ってきた 2) プロの落語家の協力を得、本格的な笑いの文化を身近な場所で楽しめる様、本年度から「ふれあい落語会」を開催する。 3) 地域イベントの「ふれあいフェスティバル」の午後の部として音楽の宝箱を企画し、大阪音楽大学の協力を得て実施してきた。	1) 前年度での事業見直しの結果、本年度の星座観察会は、年1回（冬季のみ）としたが、参加者は約100名となった。 2) 会場満員（約100名）のお客様の反応は、アンケート調査でも良好であった。 3) 関西を代表するオペラ歌手の生の歌声で、アニメソング、日本の歌および本格的なオペラなどを楽しんだ。	1) 未就学児童から保護者まで幅広い年齢層の参加者が楽しめる教育イベントとなった。 2) お笑いの企画は初めてであったが、大成功の事業となった。 3) 約120名の参加者が、プロの迫力のある歌声を堪能した。アンケートでも、来年の開催を要望する声が多かった。	1) 地域の児童科学教育事業としてまた、地域住民のふれあい事業として継続させることが必要である。 2) 今後も、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が楽しめる内容とする。また、参加者の更なる増加を図る。	生涯学習推進課自治振興費			



地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

ふるさと再発見講座開催事業	170	補助金 170	わが町に愛着、誇りが持てるように池田の歴史や自然を再発見する講座を開催し、同時に親子ふれあいと地域住民のコミュニケーションを図る。	1) 本年も応募者が募集定員を大幅に超えたため、昨年同様、緑小・附属小に20名ずつの定員を割り当て抽選を行った。 2) 空港見学を取り入れてから、応募が、募集定員の3~4倍に急増しているため、実施回数の増加を検討したが、8/1と8/7の2回しかとれなかった。 3) 見学先はANA整備工場と一庫ダムとした。	1) 緑小では、申込者の8割程度が参加できるようになった。 2) 本年も企画段階および実施段階の両面で、緑丘小・附属小の教員の協力を得、円滑に実施できた。	1) 児童の日常会話の中で、大阪空港や整備工場等「ふるさと池田探検隊」で訪問した場所について語られていることから、一定度の効果があったと思われる。 2) 空港見学は、依然として多くの関心を集めている。	1) 空港見学は、平日でしか実施できないため、夏休み期間中の事業としているが、学校行事と重ならないよう留意しながら、今後できるだけ実施回数を増やしたい。			より良い事業になるよう実施してもらいたい。	生涯学習推進課 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。地域コミュニティ意識の高揚に努める。	1) 例年、地域住民が気軽にスポーツに親しむ機会となるよう、また、住民の体力・健康づくりの場となるよう、緑丘小グラウンドにて運動会を開催している。	1) 本年度は、校舎の耐震工事のため、通常より狭い校庭で競技種目も縮小し実施した。 2) 鉢塚・緑丘地区コミュニティー推進協議会の支援事業として開催し、多数の参加者を得た。	1) 子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加者が楽しめ、かつ体力と健康づくりの地域イベントとなった。	1) 地域のスポーツイベントとして、本事業を継続させることが必要である。		事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費	
計	6,929		事業提案限度額	6,979千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

神田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 自治振興費
地域自主防災体制強化事業	920	器具費 920	自主防災組織への資機材配備を行い、防災体制の強化を図る。	自主防災会の財源の関係で、災害時の避難場所用の備品（仕切り板）がなかった。	パーテーション及びブルーシートを購入、自主防災会の備品倉庫に保管している。	防災体制の強化に繋がった。	自主防災会の資機材については、継続して必要なものを検討する必要がある。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめられたものを総会で決定する。	地域の会館や公園などの施設・備品の充実が図られた。基金への積立額が大きくなっており、今後新規事業の展開など協議会活動の活性化につながるよう期待する。	地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課 災害対策費
公園施設改修事業	470	修繕料 470	神田東公園に排水設備を整備する。	神田東公園が雨水の影響でデコボコ状態になっており、ゲートボール等に支障がでている。	神田東公園の排水を整備、整地した。	ゲートボールなどの地域交流行事がスムーズにできるようになった。	整地等は定期的にチェックする必要がある。			公園内の雨水対策として土嚢を設置し、公園広場への雨水流入対策として活用されている。	みずとみどりの課 公園費
街路灯強化事業	597	修繕料 559 電気使用料 38	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、既存の街路灯の照明を維持する。	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。（放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘）	20年度に町会・自治会から要望のあったものを中心に、街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。26年度は4か所新設した。	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果が出ていると思われる。	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となったが、地主をどのように調査するか検討が必要。			街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 交通対策費
地域行事等備品整備事業	900	器具費 900	地域で開催される行事に使用する音響設備を整備する。	神田小学校校庭で実施する運動会・盆踊り等の音響について、周辺住民からの苦情がでてきた。	スピーカー、マイク等音響設備を購入設置。	地域行事での音響苦情がなくなった。	音響設備の保管機器の購入を継続検討する必要がある。			地域行事が滞りなく遂行することができた。	生涯学習推進課 社会体育振興費
地域コミュニティ紙等発行事業	510	補助金 510	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	事務費予算の範囲内で年1回発行。（白黒印刷）	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。（22年度以降継続）	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので地域への活動内容のPRができた。	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で募集を続けることが必要。				地域分権・協働課 自治振興費
安全パトロール実施事業	70	補助金 70	地域の安全・安心の向上に応えるため、パトロール隊が電動自転車でのパトロールを行う。	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。H20年度からパトロールを開始することになった。	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。（平成21年1月以降）平成25年度につづき、継続実施できた。	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。また、PRのためパトロール中の肩掛け標も新設し効果をあげている。	ボランティア人員の確保・増員が必要。			今後ともパトロール活動の強化に努めていただきたい。	危機管理課 自治振興費
地域行事等活動促進事業	200	補助金 200	地域で開催される盆踊り等の行事を支援し、コミュニティ意識の高揚を図る。	神田小学校校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。	地域行事の活性化が図れた。26年度は二日間とも雨天で盆踊りが実施できなかったが、照明設備等の準備にかかった経費に対する支援ができた。	毎年、助成必要金額の検証が必要。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費
キッズランド支援事業	150	補助金 150	キッズランド用備品を充実させる。事業内容の拡充と参加者の増加を図る。	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。			キッズランドのパソコン教室に必要なプリンター用インクや用紙は、参加者の活動に必要な不可欠な物品であり、活動の充実や参加者の増加につながっている。有効な事業として評価できる。	教育センター 自治振興費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の高揚に努める。	神田小学校校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。	地域行事の活性化が図れた。	毎年、助成必要金額の検証が必要。	事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費		
計	4,017		事業提案限度額 12,970千円	次年度繰越金額 8,853千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

伏尾台コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目（目）
	説明										
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100									地域分権・協働課自治振興費
地域内会館設備改修事業	1,870	修繕料 1,850 補助金 20	伏尾台第1コミュニティセンターを改修し、利便性の向上を図る。	伏尾台第1コミュニティセンターの2階トイレは、男女兼用のレイアウトであるが、男子小用便器が便座個室の直前に配置されており、男子小用便器の使用時には、女性が使用し辛く、女性はほとんど1階トイレを使用する不便があった。改修が望まれる。2階料理室では、食器収納棚の引き戸がレールの磨耗で開閉がし難い、引き戸のガラスが割れて危険であり、改修が望まれる。1階玄関では車いす用のスロープが備えてあるが、木製で大きく重量が嵩み、設置移動が容易な簡易軽量型のスロープが求められている。	2階トイレは、バリアフリーの個室3箇所のトイレに改修された。2階料理室の食器収納棚は、樹脂製窓の付いた観音開き戸に改修された。1階玄関では簡易軽量型の車いす用のスロープが備えられた。	2階トイレは、男女ともに利用できるようになり、利便性が大きく向上した。2階料理室の食器収納棚の安全性が確保され、かつ利便性が大きく向上した。月に数回程度の車いすの利用があるが、容易に対応できるようになった。	伏尾台第1コミュニティセンターの屋根が、昨今の台風、大雨の都度、部分剥離し飛散する箇所が頻繁に見られるようになり、安全性の問題も生じ、屋根の葺き替えが必要である。			トイレ改修や収納棚の改修により会館の利便性・安全性が向上した。またスロープの設置で車いすでの利用者にとっての利便性も合わせて向上した。今まで以上に会館利用いただけることを期待する。	地域分権・協働課コミュニティセンター管理費／自治振興費
地域掲示板設置事業	360	修繕料 360	老朽化した地域自治会の掲示板を取り替え、地域団体と共に使用出来るようにする。	地域内に設置された掲示板が老朽化して板面が損傷して掲示ができない箇所があるなど、また、損傷が著しくまちなみの美観を損なう状況であった。	掲示板が改修された箇所 1丁目バス停北側・4丁目バス停・5丁目バス停・中学校前バス停・2丁目ユーロハイツ接点南側・伏尾台センターバス停 掲示板が入れ替えられた箇所 伏尾台センター東側（防犯委員会）	地域内のバス周回道路沿いのバス停にある全ての掲示板等が改修されて、自治会等の回収、案内等の掲示物が見やすくなり、住民の利便性が大きく向上し、さらに、まちなみの景観も向上した。	掲示板への掲示がしやすくなったことに伴い、公共性のないものや掲示期間を過ぎた掲示物の撤去等の掲示ルールの徹底が求められる。			多くの掲示板の改修による機能更新がなされた。適正な管理の下、あらためて地域の広報活動に寄与するよう期待する。	地域分権・協働課自治振興費
防犯カメラ設置事業	1,250	電気使用料 85 保守点検委託料30 修繕料 1,135	防犯カメラの増設を行い、空き巣等の犯罪抑制を図る。また既存の防犯カメラの保守管理を実施する。	H22年度に伏尾台への出入口道路である国道側と川西側の2か所に通過車両を撮影できる防犯カメラを設置した。H24年度に第2コミセン南側と細河中学校の南側交差点に防犯カメラを設置した。H25年度、北高校の周回路北側の中央付近から西方向に向けて1台、同周回路の南東のT字交差点に東西方向に向けて2台の防犯カメラを設置した。	H26年度、北高校の周回路北側の中央付近から東方向に向けて1台の防犯カメラを設置して、27年4月から無人になる伏小付近を撮影可能にした。伏尾台への出入口道路である国道側と川西側の2か所に設けたカメラ支柱を利用して夜間撮影が強化されたカメラを増設した。これによって、地域に出入りする車両並びに歩行者をもれなく撮影し得る状況となった。また、既設カメラとレコーダーはメンテナンスされた。	警察の捜査にも協力でき、同時実施の安全パトロール事業での青パトロール車の巡回、地域内の防災防犯委員会並びに自治会の防犯活動と相まって、毎年空き巣事件"0"を更新した。また、認知症の方が行方不明になったが、伏尾台から出ていない記録が確認でき、さらに捜査して傾斜地に転落されているのを発見できた。	14台設置したので、地域内に防犯カメラの増設を行うべき特段の理由はなくなり、今後は維持管理が主になるが、捜査の記録開示の要請に備える体制の維持と、経年変化により故障するカメラが今後増えることへの対応など管理業務を強化する必要がある。		地域の危険箇所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する。また継続的経費について理解し、設置場所について十分な議論・調整の上、提案を期待する。	危機管理課自治振興費	
安全パトロール実施事業	601	修繕料 82 重量税 9 補助金 510	地域安全パトロールを実施し、地域の安全・安心の向上を図る。	実施前は小学校の登校時に、主に民生委員等による見守りがあった。平成20年9月より実施し、当初小学校の登校日を中心に、H20年は、1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、H21年は、1日4回に組み直して実施した。H24年は、小学校の曜日毎、学年毎の下校時刻に応じてスケジュールの見直しを行った。H25年度は、1回1時間、1日2～3回のパトロールを実施した。	H26年度は、登校予定日、小学校の曜日ごと、学年ごとの下校時刻の違いに応じて、より細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、月曜日から金曜日の間、7時30分から1時間、15時50分から1時間、19時から1時間の1日3回のパトロールを実施した。	朝の登校時に定点立ちを主に行うパトロールでの挨拶運動、小学校下校時に合わせた午後のアナウンスを行う走行によるパトロール、夜間アナウンスが可能な時間帯の走行によるパトロールを継続して行った結果、住民の目が空き巣等の防止に繋がり、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、毎年空き巣犯罪"0"を更新できている。	毎年10名前後の隊員の入れ替えりがあるが、乗務希望の曜日と時間が重複することが多く、さらに時刻以降の乗務希望者が減少して、運行スケジュール立てが事務担当者の大きな負担である。実施者証の更新講習会の開催手配と、新入隊員への受講手配、保険加入申込み等が増加し事務担当者の負担が増大した。これら事務処理を有償化できないであろうか。		日々の地道な活動の成果により、小学校区内でパトロールの認知が高まるなど、犯罪抑止に繋がっていることと評価している。今後パトロール活動の充実を期待する	危機管理課一般管理費／一般管理費／自治振興費	
防犯防災啓発事業	350	器具費 199 電信料 1 補助金 150	年末の防災訓練用発電機と巡回パトロールを啓発するための用品を購入する。地域住民の防犯・防災意識を高め体験学習を行う。	伏尾台防災・防犯委員会は、自治会連合会より配分される50円×1250戸の予算で運営されている。毎年の総合防災訓練での費用も参加人数が300名を超え、自治会からの配分予算では厳しい状況である。自治会連合会主催の夏祭りでは、会場周辺の交通整理と警備を請け負うが、より安全に歩行者を誘導できるように、通行止め区間における事務連絡等が確保されることが望ましい。	無線機を5台導入して計7台となり、地域に4箇所ある防災備蓄倉庫の一斉点検時（6月21日）に連絡が極めて円滑になった。8月23日は、防災/防犯委員会が伏尾台夏祭り会場で、延べ85名にて無線機を使用して交通整理、巡回警備を行い安全に夏祭りが開催された。9月6日は、大阪市阿倍野防災センター見学に21名が参加した。11月9日は、池田市消防署で行われた普通救命講習に13名が参加した。12月7日は、伏尾台小学校にて防災総合訓練が行われ、参加者は315名に達した。12月27日、29日、30日の年末特別警戒には、延べ106名が参加した	夏祭りでの通行止め区間の4箇所での夜間照明並びに無線連絡と相まって安全に交通整理が実施できた。大阪府阿倍野防災センターの見学会が実施でき、参加者全員に感想文を書いてもらい防災意識が高まった。総合防災訓練での必要経費を補助金で賄うことができ、300名を超える住民に7項目の訓練を受けてもらうことができた。	総合防災訓練時の引率リーダーの養成のための教育カリキュラムとして、備蓄資機材の使用訓練、見学会の開催要望があった。		地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課災害対策費／災害対策費／自治振興費	
地域行事等活動促進事業	850	器具費 450 補助金 400	地域の夏祭り開催費用の一部を支援する。また行事を通して、住民間の交流拡大に寄与するため、子ども神輿を整備する。	子供会活動が衰退し、2丁目自治会、北自治会では子供は大勢いるが、恒例の夏まつりで子供御輿の巡行が2丁目だけでできなかった。	軽量であるが、本御輿と同様の外観を有する子供御輿を新調することが決定されて以来、子供会の再編を含めて活動の強化を図る方策が種々取られた。40周年記念となる本年度の夏祭りが平成26年8月23日に開催され、午前8時より12時30分まで、2丁目北自治会集会所前より子供御輿が巡行を始めた。1丁目北公園で本御輿と合流して1丁目を巡行し、西公園で子ども御輿が4、5丁目へ引き渡され、次いで3丁目を巡行した。午後からの夏まつり第二弾としてのゲーム大会を終えて、夕刻の学生等による音楽会を終了して、盆踊りを主とする夏祭りが盛大に開催され、多くの参加者が惜しむ中、大雨とともに9時30分に終了した。	育成者が子供会の活性化を真剣に議論できる状況となり、27年度は、2丁目と3丁目の子供会が合併して子供会が無かった2丁目北自治会の子供たちが2・3丁目子供会に入会する強化策が取られることになった。	第40回記念の夏祭りを開催するも自治会活動のうち最も負担が大きいことから、平成26年度末をもって自治会連合会が解散となり、平成27年度の夏祭りが自治会主催で行われないことになった。一方、活動を活性化させた子供会では、新調の子供御輿の巡行を望んでいるので、夏祭りが開催されるようにしたい。		事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課自治振興費／自治振興費	
AED管理事業	42	消耗品費 42	地域に設置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。	6年前に阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。	阪急バス車庫事務所に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。伏尾台センターコープ店舗内に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。地域住民へのAED設置場所の周知徹底を図るため、広報紙に地図入りで記載し全戸配布した。	午前10時から午後10時まで開店しているコープ店舗内と、24時間常駐されている阪急バス車庫の事務所内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。	12月に総合防災訓練で参加者に使用体験を実施し、防災防犯委員会の委員で使用訓練を実施しているが、さらに住民向けの使用訓練の機会を設けることが必要である。定期的に設置状態の確認を行うこと。		引き続き、AED設置・管理要領に基づき、維持管理、救命講習の受講に努めていきたい。	健康増進課保健衛生総務費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

公園整備事業	550	消耗品費 300 修繕料 250	公園施設を改修及び充実するとともに、樹木に名前プレートを整備し、利便性の向上を図る。	伏尾台の中央公園は、協議会からの高齢者用運動具並びに幼児用の遊具の整備要望の通りにリニューアル工事が実施され、アンケート調査の結果、幼児と高齢者の利用が増加している。利用者増加を踏まえ、協議会では、子育て支援の視線で公園整備を検討し、伏尾台第1公園に水飲み・手洗い設備が設置され、伏尾台1丁目第2公園に幼児用スプリング遊具が設置され、伏尾台5丁目公園に捕球ネットが設置された。しかし、調査で南公園では幼児遊具が不足することが判明した。さらに、公園の利用並びに維持管理に関する住民の関心を高める必要がある。	伏尾台南公園には、幼児用スプリング遊具が設置された。11月22日、樹木名と共に樹木の由来等を記載したプレートを設置する事業を、中央公園にて子供会と協議会委員との共同で実施し、広報活動として焼き芋大会とゲーム大会を実施した。	伏尾台南公園では、幼児用スプリング遊具が設置されたことにより、幼い子供とその育成者たちの利用が増加した。樹木プレートを熱心に読む人たちが多く見られ、住民の関心が高まったと考えられる。	協議会内のまちなみチェック委員会では、26年度に地域全域を調査し、改善すべき箇所のリストを作成したので、優先順位を付けて改善を順次提案していきたい。樹木プレートの管理を定期的に行うことが必要である。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	本年度においてもハード・ソフト両面で幅広い分野の事業が実施され、地域で創意工夫されながら事業展開いただいていると評価。今後も継続性を持って地域の活性化、魅力度アップに努めてもらいたい。	伏尾台南公園に、幼児用のスプリング遊具を設置し、利用者に喜ばれている。また、樹木プレートについては、公園樹木を通して、身近な樹木の名前や由来を知ってもらうことで、自然学習の場として活用されている。	みずとみどりの課 公園費
伏尾台コミュニティ道路整備事業	500	修繕料 500	細河地域コミュニティ推進協議会と協働して地域間を結ぶ散策道の整備を行い、市民の健康増進を図るとともに隣接する地域間の交流を図る。	細河中学校運動場東側は久安寺の里山に隣接しており、山中にある炭焼き小屋跡まで散策できるように、伏尾台の造成時中学校運動場東脇に(1)「階段道とこれに続く平坦道」約200mが造られた。炭焼き小屋跡からは(2)「急なつづら折れ道」約200mと(3)「崖沿いの直線道」約200mを通ると、久安寺山門脇に出る山道がある。(3)「崖沿いの直線道」が道幅が狭く危険で早急に整備が必要であり、伏尾台から久安寺及びランドゴルフ場への散策道で往来し易いように、協同で整備することになり、H23、24年度は(3)「崖沿いの直線道」で幅幅修正及び木質舗装工事が完了した。H25年度は、(3)「崖沿いの直線道」に落下防止のために手すり兼用フェンスを土留擁壁部に立設し、(2)「急なつづら折れ道」に、質舗装工事を施す下準備として、路面確保の土留補修工事をを行った。	本年度は(2)「急なつづら折れ道」に木質簡易舗装工事を施した。細河の協議会と伏尾台の協議会が10月～3月まで月交代で、落ち葉の除去清掃を行った。	久安寺側から(3)「崖沿いの直線道」が幅幅整備、フェンス設置後は親子連れで子供でも安心して歩ける道になり、さらに(2)「急なつづら折れ道」に、路面確保の土留補修と共に木質簡易舗装工事を行ったことで極めて歩きやすくなった。	今後(1)「階段道とこれに続く平坦道」に木質簡易舗装工事を施すことで雨天時も歩くことが容易になり、さらに要所に街路灯を設置することによりより安全に散策可能になると考えられる。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	道路整備により、より安全で安心な散策道が確保されたと考える。	道路課 道路維持費	
地域コミュニティ紙等発行事業	200	補助金 200	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	伏尾台では、協議会の広報紙の発行に際し、紙面の作成、印刷、地域全戸配布作業の全てを、協議会メンバーのボランティアで実施してきた。費用は紙代等の実費のみであったが、協議会委員への負担は極めて大きかった。	定期広報紙を2回、特別広報1回を、地域コミュニティ紙を伏尾台地域の全戸に配布した。5月上旬に、平成25年度実施の公園改修事業を表紙にし、26年度の実施事業を紹介した第11号広報を協議会の委員で全戸配布した。11月末に市の広報紙と共に、公園の樹木に開設プレートを子供達と付けている写真を表紙に、平成27年度で実施予定の事業を紹介した第12号広報を全戸配布した。2月末に市の広報紙と共に、平成19年に発足し8年を経過した伏尾台コミュニティ推進協議会の活動の成果を地域の地図を用いて紹介した第13号広報を全戸配布した。伏尾台地域活性化事業で行う年3回の「山びこフェスタ開催案内」ポスター、回覧の広報活動を協議会委員の手配りで実施した。	年間3回の全戸配布の広報による協議会入会、アンケート回収や安全パトロール隊員の応募などに極めて有効であった。「山びこフェスタ開催案内」のポスター、回覧チラシにより、イベントが有意義に実施された。	委員の負担を減らすため「山びこフェスタ開催案内」をe-mailなどで広報できるように考えていきたい。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	時に協議会委員が配布を実施するなど経費削減を図りながら、広報活動の充実につとめていただいた。中でも特別号においては、8年間の活動記録を地図・イラスト・写真を用いて非常に分かりやすくまとめられている。保存版として今後の協議会活動においても大いに役立てていただきたい。	地域分権・協働課 自治振興費	
伏尾台地域活性化事業	350	補助金 350	地域住民を対象としたミニコンサートなどのイベントを実施し地域の活性化を図る。	毎年5月と11月の野外コンサート、3月の落語会と年3回開催で既に10回開催してきた。季節を感じられるイベントとして地域に「ふしおだい山びこフェスタ」と認知され定着している。	5月17日、音楽コンサートを地区福祉委員会のフリーマーケットと共催の形で、伏尾台センター「夢の広場」公園で行った。11月22日、午前10時より、本年度の公園整備事業である樹木名と共に樹木の由来等を記載したプレートを設置する事業を、中央公園にて子供会と協議会委員との共同で実施し、子供たちへのご褒美として焼き芋大会とゲーム大会を実施した。その後、午後2時より音楽コンサートを前記「夢の広場」公園で行った。平成27年3月7日、午後1時30分より落語の会を第1コミセンで開催した。	開催結果を参加人数(0.5時間毎の最大ピーク人数、延べ人数でない)で評価する。夢の広場に立ち寄り20～30分間いている方、最初から最後まで聞いている方等多くの人に楽しませている。5月17日 「ジャズコンサート」1.5時間 70～100人 11月22日 「ポータルコンサート」1.5時間 60～120人 樹木プレート設置、焼き芋大会、ゲーム大会の参加者85人 3月7日 室内で開催「落語の会」70人	参加者は異口同音に伏尾台で音楽や落語が楽しめて良かったと言ひ、継続要望が多かったが、ボランティアスタッフを集めるも少ない。今後開催の内容、方法を吟味検討しなければならない。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 自治振興費	
細河中学校花いっぱい運動支援事業	25	補助金 25	地域と学校が一緒に実施する「みんな育てる花いっぱいプロジェクト」活動の支援を伏尾台地域とともに行う。	地区福祉委員会並びに細河地域コミュニティ推進協議会と共同して、細河中学校が行う地域花いっぱい運動(中学生がパンジーなどを育て、大きくなった苗を地域の学校、保育所、老人ホームなどに配り、やさしい環境作りを行う)を支援していた。	パンジー、ビオラのプラグ苗1000株を育成用土、肥料等を用いて予定どおり育成することができた。育成したパンジー、ビオラは、中学生が地域の学校、保育所、老人ホームなどに配り、やさしい環境作りを行うことができた。	文字どおり細河中学校地域の地区福祉委員会並びにコミュニティ推進協議会が全て共同して、中学生が行う学校、保育所、老人ホームなどへ花の贈呈活動を支援することができ、地域全体の活動として定着してきた。	今後は、ほそごう学園の開校とともにさらに地域全体の活動としての意義が高まるため、継続して活動していきたい。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	今後も地域と学校が協働で自然とふれあいの場を広げていくことを期待する。	環境をまもる課 自治振興費	
子育て支援環境整備事業	100	補助金 100	幼児をもつ母親の子育て環境の改善とコミュニケーションの場づくりを行うため、用品等の拡充を図る。	平成22年度より、伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。その後も毎週、部屋が開設される日時を決めて、無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。	「フレンズ」の会員は67組(134人)、ボランティア会員(12名)で構成され、伏尾台第1コミュニティセンターの小会議室を週2回借りて、子育てサロン「フレンズ」を開設した。年間、121組(延べ242人)の利用があった。上記活動の他、七夕とクリスマス時期の年2回、入園前会員宅を訪問して、手作りカードの贈呈、子育ての悩み等の聞き取りを行う活動を、延べ82回(延べ246名)行った。子育てサロン「フレンズ」を卒業した会員による「親子で遊ぶ会」を8月と12月実施し、23組(延べ46人)の参加があった。	「ほっとルームフレンズ」で親交を深めた親子同士がお互いの家や公園に集い、グループで遠出できるようになり、子供と純粋に向き合い遊ぶ時間が持てる人間関係が築けるようになるなどの、初期目的である、密室育児で子育てストレスを溜めてしまうことを防止できる環境を整備維持できている。	新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録等の事務処理、さらに就園児となった親子らへの交流、相談で訪れる母親への支援等を考えると、支援者の当番制を確立するため、一部有償ボランティア活動を認めてもらえる制度が必要と考える。	関係者の意見を参考にして、役員会でまとめる。	子育て世帯のコミュニケーションの場として備品等の環境整備等を実施。交流や悩み相談などを実施し、安心して利用できる親子交流の場となっている。また季節ごとの行事などを行い親子が居心地よく過ごせる場所として地域に定着している。今後も引き続き安定した活動を期待している。	子育て支援課 自治振興費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成26年度執行）

地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業	150	補助金	150	地域住民への協議会活動及び地域分権のPRを目的として協議会活動の運営を行う。	コミュニティ推進協議会の活動拠点として事務所設置を行った。伏尾台周回道路沿いで西公園南側と目立つ場所に看板と掲示板を設置して広報活動を行っている。現状の屋根上を被覆する簡易屋根を設けて雨漏りを防ぎ、光ケーブルを引きコピー・ファックス複合機を導入でき、印刷用紙や書類を保管可能になった。	協議会の役員会議を定期的に開催し、資料回覧物等の印刷業務を行っている。また、地域の「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。さらに、地域内に季節毎の花を植える活動を行う地区父子委員会の「花の会」の活動拠点として利用してもらっている。	伏尾台地域に入っすぐの目立つ立地条件のもと、webでのGoogle地図にも「伏尾台コミュニティ推進協議会」と表示され、そのストリートビューには黄色い看板が目立っている。コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会並びに社協の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。	屋根の改修により、事務所機能が復活し、利用回数が増大した結果、元来老朽化した床の損傷が進行しており、踏み抜けるのも時間の問題となってきた。			コミュニティ推進協議会の拠点施設として活用されている。	みずとみどりの課 自治振興費	
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の高揚に努める。	伏尾台校区住民がスポーツに親しみ気軽に参加できる機会を設け、幼児から高齢者まで楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る目的で、伏尾台校区市民レクリエーション大会実行委員会を組織し、自治会連合会の協賛のもと、伏尾台大運動会を行ってきた。各自治会の組織率の低下にともない、自治会からの参加者並びに協賛金も大きく低下している。	自治会協賛金の低下を補う形の補助金として、必要な運営費用を賄うことが可能になり、参加者の高齢化と運動量の減量化を求める意見を考慮して、プログラムを一部変更した結果、多くの住民が参加して大いに楽しめるスポーツ大会を開催できた。	実行委員会並びに自治会連合会の役員、スタッフともに運営が積極的に行われ、又、各自治会の参加者募集の努力の結果、例年同様に参加者があり、盛況な運動会であった。	主に夏祭りの開催に要する労力が大いなる負担として、組織率の大幅な低下を理由に自治会連合会を脱会する自治会が出ることにより、平成26年度末で自治会連合会が解散となった。これにより平成27年度の自治会連合会による参加者集めができなくなるため、運動会の中止が懸念され、また、幼児から高齢者までスポーツを楽しむ交流を深めて地域の活性化を図る初期目的に立ち返り、参加人数を考慮した紅白対抗形式など、従前とは異なる別形態の運動会を模索していく必要がある。			事業の実施により、地域スポーツの振興を図ることが出来た。	生涯学習推進課 社会体育振興費	
計	7,398			事業提案限度額	15,819千円	次年度繰越金額	8,321千円						
合計	80,431千円			事業提案限度額	109,040千円	次年度繰越金額	27,559千円						